

別添1

令和6年度使用  
小学校用教科用図書  
選 定 資 料

令和5年5月  
山口県教育委員会



種目名 国語

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	国語 109～609
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	新編 新しい国語		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の冒頭ページに「言葉の力」と「学習の流れ」が明示されていることで、身に付けさせたい資質・能力を明確にしながらか見通しをもって学習できるようになっている。写真やイラスト、図表等を多く取り入れるなど、資料の選定にも工夫が見られる。</li> <li>○ 巻頭と巻末に当該学年を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、6年間を通じて段階的・系統的に配列することで螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるよう編集されている。また、各単元の指導事項を重点化し、偏りなく育成できるよう、指導計画の見通しをもちやすい配列となっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語の力を育むため、各単元において「学習で使う言葉」が明記され、巻末にまとめられている。さらに、「言葉相談室」や「情報のとびら」で言語運用の基盤となる知識・技能を明確にし、教師や児童が学習の中で意識できるよう工夫されている。</li> <li>○ 興味を引く実用的なテキストを活用し、文章と図表を結び付けながら読んだり、考えを伝えたりする場が設定されている。また、学習の手引きの「ポイント」でキャラクターが児童に問いかけることで、学びを振り返ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元の冒頭に大きな写真や資料と「言葉の力」「学習の流れ」が見開きで示されており、児童が学習の見通しをもち、学ぶ意欲を高められるようになっている。また、手引きにおいて、見開きで上段に学習活動の展開、下段に具体例を明示し、学習の全体像が捉えやすい構造になっている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に「国語の学習の進め方」「国語ノートの作り方」「デジタルノートの作り方」などが紹介され、児童が学び方を見通したり、選択したりすることができるようになっている。</li> <li>○ 第1～4学年は各学年2分冊、第5、6学年は各学年1冊で構成され、発達の段階に応じた製本がされている。また、ページ削減・用紙の品質向上を通して、これまでより軽量化を図っている。</li> <li>○ 特別支援教育の観点から、特殊音節や助詞の教材を視覚化・動作化によって理解しやすくしたり、文節改行や脚注罫線によって、語句のまとめりや行を捉えやすくしたりしている。また、UDフォントを使用するとともに、見分けやすい配色となっている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の入門期に、幼児期に育まれた資質・能力を生かしながら言葉について学べるよう内容が工夫されている。また、巻末資料に学習用語の一覧があり、学年相互の関連性や中学校への系統性が意識されている。</li> <li>○ 各単元の「ふり返る」において「言葉の力」の活用を促す「生かそう」が設けられ、読書活動や教科等横断的な学習、家庭・地域との連携を図る発展的な取組が紹介されている。</li> <li>○ SDGsをはじめ、様々な今日的課題に関連の深い教材を数多く取り上げており、未来を切り拓く力を育てることが重視されている。また、二次元コードから様々な資料や動画にアクセスし、学びを広げ深めることができるようになっている。</li> </ul>		

種目名 国語

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	国語 111～612
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	ひろがる言葉 小学国語		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が必要感をもって取り組める課題が設定され、言語活動に仲間と協働して取り組む中で、生きて働く言葉の力を育むことができるように編集されている。また、「学習のてびき」に示された学習のめあてや振り返り、学習活動、学習のポイントまでが一つの学びとしてつながるように工夫されている。</li> <li>○ 複数の領域を関連させて効果的に学習を図る「関連単元」と、一つの領域に集中して学習する「基本単元」がバランスよく組み合わせられている。螺旋的・反復的に指導事項を学び、学力向上を図れるように、各学年及び学年間で系統的な単元構成が意図されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉や漢字に関わる小単元を系統的・重層的に配置し、繰り返し学習できるように構成されている。「言葉」「言葉を増やそう」や、巻末の「学ぶときに使う言葉」「情報のまとめ」等で語彙や情報の扱い方に関するポイントを学習できるようになっている。</li> <li>○ 他教科や実生活に生きる言葉の力が身に付くように目的意識を重視した教材が設定されている。児童が自らの考えを形成・深化・拡充できるように学習の展開を工夫し、活動後には、自己評価や相互評価を行う機会が設けられている。</li> <li>○ キャラクターの言葉が児童の主体的・対話的な学びのモデルとなるように工夫されている。多様な言語活動を展開し、言葉による見方・考え方を働かせながら学びに向かう力を育成することができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に、「ひろがる言葉 ○年生で学ぶこと」を設け、身に付けさせたい力を明確にし、1年間の学習の見通しがもてるように工夫されている。また、巻末では、何を学び、どう生かすことができるのかをアウトプットする活動が設定されている。</li> <li>○ 全学年で分冊を採用し、1冊当たりの軽量化が図られるとともに、学年全体のページを増やし、単元扉や手引き、付録などが充実している。</li> <li>○ 図や表、写真や絵を多用し、学習内容が端的につかめるように配慮されている。また、色覚の特性を踏まえ、判読しやすい配色やレイアウト、オリジナルのフォントを用いるなどの工夫がみられる。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では、小学校での学びのスタートカリキュラムとしての教材が設定されている。第5、6学年では、中学校国語との接続を意識し、指導事項の一層の焦点化・重点化を図った単元や教材の構成が取り入れられている。</li> <li>○ 話題・題材や言語活動など、多様な観点から、社会科や理科、総合的な学習の時間等で活用できるように配慮されている。特に、表現に関する教材を中心に、他教科等の学習における実際の言語活動に活用できるように工夫されている。</li> <li>○ 調べたことを表現したり、読んで感じたことを交流したりする活動ができるように、「ひろがる読書の世界」というコーナーにおいて、様々なジャンルの本が紹介されている。</li> </ul>		

種目名 国語

観点	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	国語 113～613
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	国語		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学び方が分かる」「学ぶ楽しさがある」「学びがつながる」の三つの柱が、教科書編集の方針として挙げられている。巻頭に「国語の学びを見わたそう」が設けられ、学びの流れが視覚化されている。さらに、各単元の学習も巻頭で示した流れに沿って構成することにより、児童が自ら問いを立て、学習を進めていく力を育てることをめざした編集となっている。</li> <li>○ 「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成し、習得した「知識及び技能」を活用して、思考・判断・表現を繰り返す中で、着実に資質・能力を身に付けられるように配慮されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉や漢字に関わる小単元を随所に設け、繰り返し学べるように構成されている。また、情報と情報の関係や情報の整理の仕方、学校図書館等の活用方法など、情報活用能力の基礎となる知識及び技能を育成できるような工夫がされている。</li> <li>○ 各単元の見通しをもつ過程で、「問いをもとう」が新設された。児童の問いから学習課題や目標を導き出し、主体的に課題解決を行う過程で、思考・判断・表現に関わる言語能力を育成するよう配慮されている。</li> <li>○ 一人ひとりの興味に沿った選択課題や複数の思考のヒントを示すことで個別最適な学びを進めることができるよう配慮されている。同時に、対話を通して学びを深める協働的な学びについても、対話の例とイラストでイメージすることができるように構成されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「国語の学びを見わたそう」のページが、幅や紙質を変えた「ブックインブック」として掲載されている。巻末には、「言葉の宝箱」「学習に用いる用語」「伝え合うための言葉」や思考ツールをまとめた「図を使って考えよう」のページなど、充実した資料が掲載されている。</li> <li>○ 高学年では中学校と同様に、1年間の学習を見渡せる各学年1冊構成とすることで、中学校への円滑な接続が配慮されている。</li> <li>○ 色・フォント・ページ構成の配慮の他、挿絵や説明内容などユニバーサルデザインの視点が意識され、「つまずき」だけではなく「多様性」にも配慮された紙面となっている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生のスタートカリキュラム「さあはじめよう」では、幼稚園や保育所等での育ちや経験をいかした単元構成、第6学年の最終単元「中学校へつなげよう」では、小学校で獲得した言葉の力を再確認しながら中学校へつなげる単元構成となっている。</li> <li>○ 生活科や社会科、総合的な学習の時間など、他教科等と有機的な関連が図れるように、話題や題材の選定が配慮されている。</li> <li>○ 「読む」領域では多彩なジャンルの文章や作品が掲載され、今日的課題に配慮しながら、児童の興味・関心を引き出すような教材が掲載されている。2年生以降の特設単元「言葉について考えよう」では、新たなキャラクターが登場し、具体的な場面で言葉の世界への理解が深められるように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 書写

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	書写 106～606
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	新編 新しい 書写		
1 編集の特徴	○ 編集の方針にみられる特徴	○ 幅広い知識と教養を身に付けるとともに、読む人のことを思いながら自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自分を伝える術を磨いたり、豊かに世界とつながったりしてほしいという願いのもとに編集されている。		
	○ 組織・配列にみられる特徴	○ 学習指導要領の書写に関する事項が組織的に配列されている。第3学年以上では、表紙裏に「小学校書写の学び」を示すことで、常に系統性を意識できるように工夫されている。		
2 学習指導要領との関連	○ 知識及び技能	○ 系統的に整理した学習事項のポイントを「書写のかぎ」として示し、点画の書き方や文字の配列等の知識・技能が着実に身に付くように工夫されている。		
	○ 思考力、判断力、表現力等	○ 「書写のかぎ」を軸とした課題解決型の学習過程が設定されており、課題や学習事項を発見する段階では、児童間での話し合いを促すように工夫されている。		
	○ 学びに向かう力、人間性等	○ 児童が何をどのように学ぶかを理解し、個々の学習事項を積み上げ、それを生活に生かすことができるように、学習過程が工夫されている。		
3 使用上の便宜	○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴	○ 目次では、学びの全体像を積み木で表し、積み木の色を目次や基本単元のタイトルに使用することで、つながりを視覚的に捉えることができるように工夫されている。巻頭には、児童が日常から課題を見付け、解決していく様子がイラストで示されている。		
	○ 判型・分冊などにみられる特徴	○ 書き込み欄を充実させた上で、教科書とICT端末を並べて学習しても無理のないサイズになっている。毛筆教材のページは、半紙の縦横比率に合わせてあり、半紙での文字の配列の参考になるようにしてある。		
	○ ユニバーサルデザインに関する配慮	○ 見やすい配色やUDフォントの使用、読みやすい文節での改行等、全ての児童への対応と配慮がなされている。低学年では、点画の書き方の特徴を動物の動きと擬態語を使って表現し、様々な感覚へ働きかけるように工夫されている。		
4 その他	○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴	○ 第6学年では、これまでに学習した「書写のかぎ」により振り返ることで、小学校の学びを総括し、中学校での学びに生かすための話し合いを促すように工夫されている。		
	○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴	○ 他教科等の学習と連動している教材には、関連マークを付けることで意識付けが図られている。		
	○ その他の顕著な特徴	○ 基本単元の導入の際に、二次元コードを読み込み、アニメーション等を見せることで、点画の書き方等の大事なポイントを共有できるように工夫されている。		

種目名 書写

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	書写 107～607
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学 書写		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字を整えて書く原理・原則を理解し、自分のめあてをもって書く過程の中で身に付ける「学び方」と、よりよく伝えるための書き表し方を考え工夫する過程を通して身に付ける「伝え方」を軸として、教材が選定・構成されている。</li> <li>○ 基礎・基本が身に付くように写真や図版を活用し、児童自身が実践できるようになっている。また、「生きてはたらく書写力」が育成できるように、硬筆と毛筆を関連させ、毛筆学習の成果が確実に硬筆学習につながるように構成されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年においては、合言葉で姿勢や鉛筆の持ち方の定着・習慣化を図っている。中学年以降は、適切に運筆する能力の向上を図るために水書用紙が工夫されている。また、穂先の通り道を明快に示した図版がほぼすべての教材で掲載され、基本の筆使いの定着が図られるように配置されている。</li> <li>○ メモの取り方やノートの書き方、ポスター、観察カード、作品カード等、日常生活に即した学習活動を取り上げ、それらの活動を通して思考・判断・表現できるように工夫されている。</li> <li>○ 1単位時間の見通しをもつ「学習の進め方」の欄を設けている。また、「ためし書き」と「まとめ書き」の欄を設けて自らの成長に気付くことができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年間の学びを俯瞰できるような目次のレイアウトになっている。各学年の巻末で、手書きによる2学年分の漢字配当表を取り上げ、国語科と関連して学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 強度を維持しつつ、軽量の紙が使用されている。また、書き文字や図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものとなっている。</li> <li>○ 判読しやすい配色や見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトが用いられたり、手書き文字と近い形で学習できるUDフォントが使用されたりしている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「はってん」を設け、先の学年の学習への見通しがもてるようにしている。第6学年では、行書を紹介することで、中学校で学習する内容への興味・関心が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 書写で身に付けた力を、どの学習場面でも発揮できるように、各学年の学習活動に即した教材が系統的に構成されている。</li> <li>○ 二次元コードにより、点画の書き方等を動画で確認できる。対話的な学びを支援するため、伝え合う視点や話し合いの場面がイメージできるように例示されている。</li> </ul>		

種目名 書写

観点	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	書写 108～608
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	書写		
	1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材単位で学習が完結するように1教材1単元構成になっている。「何を学ぶか」「何ができるようになったか」が分かりやすいように、教材名と書写の学習要素が連動して示されている。</li> <li>○ 各学年段階で求められる「書く力」を確実に身に付けられるように、基礎的・基本的な知識及び技能を児童の発達の段階に即して系統的に位置付け、習得と活用を繰り返しながら螺旋的に高められるように工夫されている。</li> </ul>	
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年以上の全教材に「たいせつ」を設け、同じ要素をもつ他の文字を書くときにも活用できる基礎・基本が明確に示されている。毛筆での学習を硬筆へ生かせるように、毛筆学習の後には、教材内に必ず硬筆課題が設けられている。</li> <li>○ 教材冒頭に「字のなぞとき」を設置し、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、思考力、判断力、表現力等を養えるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が見通しをもって学習できるように、第2学年では「書写の学習場面」、第3～6学年では「学習の進め方」が写真で示されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では「しよしゃすたーとぶっく」、第3学年では「毛筆スタートブック」を設け、入門期における基本を網羅できている。</li> <li>○ 書き込み欄を充実させるとともに、強度が高く、鉛筆で書きやすい紙が採用されている。文字やイラスト、写真が見やすく、裏写りの少ない紙質となっている。</li> <li>○ 情報の精選、レイアウトの工夫、字体の整合性、色の組み合わせ、UDフォントの使用など、全ての児童にとって学びやすいように工夫されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第6学年では小学校で学習したことをまとめた「書写ブック」、第2～6学年では、巻末に2学年分の漢字一覧が設けてあり、学習を振り返ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 他教科等との関連教材「書写広げたい」を随所に位置付け、算数科や生活科、理科等との教科等横断的な学習が充実するよう配慮されている。</li> <li>○ 教科書紙面の二次元コードを読み取ると、教科書連動コンテンツ「広がる学び・深まる学び」で学習の参考となる資料を参照できるように工夫されている。また、第4学年の「SDGsブック」をはじめ、全学年にSDGsを意識した教材が取り上げられている。</li> </ul>		

種目名 社会

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	社会 305～606	
	使用学年		3 ～ 6		
	書名		新編 新しい社会		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民としての資質・能力の基礎を育成することをめざし、「資質・能力を確かに育てる教科書」、「子供の学びを広げる教科書」、「授業づくりをサポートする教科書」をいう三つの基本方針を掲げて編集されている。</li> <li>○ 各学年の最初の見開きページには、問題解決的な学習を促すための「学習の進め方」が例示されている。また、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、主体的・対話的で深い学びを実現する学習の進め方を具体的に示している。</li> </ul>			
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重要なキーワードを「ことば」として明示することで、学習内容が確実に習得できるように工夫されている。また、随所に「まなび方コーナー」が設けられており、地図やグラフの読み取りなどの技能を系統的に習得できるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が社会的な見方・考え方を働かせて課題を追究できるように、「空間」「時間」「相互関係」「方法（考え方）」の4種類のイラストで分かりやすく示している。また、「まとめる」ページを設け、新聞や年表、表にまとめるキャッチコピーを考えるなどの多様な表現活動が提示されている。</li> <li>○ 学習したことを生かして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりする「いかす」のページを設けている。自分たちにもできることや、よりよい社会の在り方について考え、地域社会の一員としての自覚を高められるようにしている。</li> </ul>			
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭には、教科書の構成を分かりやすく確認できるように、「この教科書のつくりを見てみよう」ページが新設されている。巻末には、どのように学んだり考えたりしたのかについて振り返る項目が設けられている。</li> <li>○ 第5、6学年を政治・国際編と歴史編の2冊に分けて、使いやすいうように配慮されている。また、重量負担にも配慮し、二次元コードを充実させることで、これまでの同社のものと比べて軽量化が図られている。</li> <li>○ カラーバリアフリーの観点から、地図やグラフにおいて色調だけでなく、模様や形、線種などでも判別できるようにしている。本文は独自の専用教科書体を採用している。</li> </ul>			
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に「前学年で学んだこと」「1年間で学んだこと」が見開きで設けられている。また、第6学年には、「中学校に向けて」というページを設け、中学校の学習に対する関心を高めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 「教科関連マーク」を配置し、関連する他教科等の学習内容を示している。また、道徳教育との関連が図られるように、人間尊重や公共の精神等を育む教材を取り上げている。</li> <li>○ 1人1台端末に対応した二次元コードは、授業の導入動画、インタビュー動画等の動画資料や、PDF形式のワークシートやデジタルワークシート等、様々な場面で活用できる。</li> </ul>			

種目名 社会

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	社会 307～607
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	小学社会		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元を通して追究していく「学習問題」と、その解決に向けた1単位時間の「問い」が例示されており、学び方や振り返りを意識できるように編集されている。豊富な資料があり、社会で活躍している多様な人物についての紹介文が掲載され、児童が主体的に楽しく学べるように工夫されている。</li> <li>○ 大単元導入では、既習事項や生活体験を踏まえた「問い」が生まれやすい資料が掲載されており、「問い」を中心に展開する問題解決的な学習を進められるよう工夫されている。大単元終末では、「つなげる」学習活動を設けており、学習したことを社会やくらしに生かそうと意識することができるようになっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 必要に応じて語句解説を加えた「キーワード」を側注欄に記載していたり、小単元の「まとめる」ページで思考ツールの手法で整理する活動を位置付けたりしており、学習内容の習得、定着が図られるようになっている。</li> <li>○ 社会的な「選択・判断」をしたり、これからの地域や社会について「構想」したりし、文章にまとめる、発表する、話し合うなどの多様な対話的な活動の例が小単元の終末に掲載されており、思考力・判断力・表現力等を育成できるようになっている。</li> <li>○ 追究の見通しの立て方を例示し、見通しをもって主体的に学ぶ力が身に付くようになっている。また、追究を振り返る観点を提示して、学び方を自ら改善していこうとする態度の育成も図られるようになっている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に社会科での「見方・考え方」「学習の進め方」のページが設けられており、「社会的な見方・考え方」について各学年の内容に即して捉えたり、問題解決的な学習の流れを参考にしながら見通しをもったりして学ぶことができる。</li> <li>○ 資料等を大きく掲載できる幅広の判型でありながら、軽量でありランドセル等への収納にも配慮されている。再生紙と植物性インクの使用、表紙の抗菌加工により、環境に優しく安全に使用することができるようになっている。</li> <li>○ より多くの児童に見やすく読みやすいUDフォントを使用している。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭には、前学年の学習を振り返るページがあり、スムーズな接続ができるよう配慮されている。第6学年には中学校の社会科の各分野への接続という観点から振り返るページがあり、中学校とのつながりを意識できるよう配慮されている。</li> <li>○ 全学年、5ページ目に「他の教科などとの関わり」が掲載されており、グラフの読み取り方等を教科等横断的に学ぶことが意識できるようになっている。</li> <li>○ イラストが大きく描かれ、児童の興味・関心を高めるとともに、細部にまで注目して資料を読み取ることができるように工夫されている。また、第6学年の歴史ではAIの技術と史料などを基にカラー化した画像が掲載されている。</li> </ul>		

種目名 社会

観点	発行者の番号・略称	116 日文	教科書の記号・番号	社会 308～608
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	小学社会		
	1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問題解決に向け、本気で学ぶ」「主体的・対話的で深い学びを実現する」「SDGsを自分ごととして考える」という三つの基本方針を設定している。主権者としての自らの生き方を問い続けながら、持続可能な社会の実現に向け、社会に見られる問題を仲間と解決することのできる児童を育てることをめざしている。</li> <li>○ 児童の発達の段階を考慮し、学習を効率よく進めることができるように、児童の思考の流れを重視してつくられている。また、各小単元の見開きのページの最初には「わたしたちの問題」が、単元の終末には「さらに考えたい問題」が設定されているなど、問題解決的な学習の過程を意識した組織・配列になっている。</li> </ul>	
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料の読み取りから情報を得るだけでなく、適切にまとめる技能を身に付けることができるように、資料などの紙面配置が工夫されている。また、「学び方・調べ方コーナー」の設定が、観察力や資料活用能力といった学習技能の育成につながっている。</li> <li>○ 社会的事象に対する多角的な思考を促すとともに、社会への関わり方について考え、表現することができるように、「見方・考え方コーナー」が設定されている。また、単元の終末に対話的な学びを促す話合いや振り返りの場面を設定している。</li> <li>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、本文を「学習活動」「学習内容」「友だちの発言」の三つの役割に分けている。また、地域社会への誇りや愛情、地域社会の一員としての自覚の育成など、各学年の目標に即して各単元を設定している。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次では、イラストや教科書のコーナーの説明を入れるなど、自主学习にも対応している。巻頭では学習の進め方を明示し期待感を高め、巻末では学習内容や身に付いた資質・能力についての振り返り、今後の学習の見通しを意識したつくりになっている。</li> <li>○ AB判を採用し、写真やイラストを大きくして、児童の興味・関心が高まるようにしている。また、大きめの判を生かして、資料と本文の読み取りがしやすいようにページ構成を工夫している。</li> <li>○ 文章においては、やや大きめのフォントサイズにしたり、書体を工夫したりしている。図表においては、色調や色の組み合わせだけでなく、斜線やドットを使用するなどの配慮が見られる。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に次学年の学習内容が明示してあり、今後の学習の見通しをもつことができるようになっている。また、第6学年の巻末では、中学生になった自分へのメッセージを書くページを設けるなど、中学校へのつながりを意識できるよう工夫されている。</li> <li>○ 礼儀や公德心等と関連して、「学び方・調べ方コーナー」で、他者との交流や公共の場での注意事項を示している。また、他教科等と関連している学習内容を設定したり、学習状況に応じた資料を掲載したりすることで他教科等との関連を図っている。</li> <li>○ 「未来につなげる～わたしたちのSDGs」というページを設定し、問題意識や興味・関心から、児童がSDGsの達成に向けて行動しようとするきっかけとなる教材を掲載している。</li> </ul>		

種目名 地図

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	地図 303
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	新編 新しい地図帳		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3～6学年までの使用を踏まえ、問いと作業のコーナー「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」を新設するなど、児童が地図帳を開きたくなる編集をしている。また、地形の陰影の表現をなくし、土地利用の様子が分かり、各地の土地の姿が見えるなど、児童の学習への意欲が高まる地図の示し方が工夫されている。</li> <li>○ 地図帳への導入となる世界地図と日本地図に始まり、日本列島を見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引が系統的に配列されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用などの基本的な地図の読み方を「地図帳のきまり」として見開きで表し、さらにキャラクターのガイドによる解説を加えることで、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように工夫されている。</li> <li>○ 日本の自然災害について、日本列島全体の災害地図を折り込みページで掲載し、地形や気候などとの関係から災害の起きる要因や防災対策について考察できるようにしている。</li> <li>○ 日本の歴史を学びながら、同時代の世界の様子が分かる、世界スケールの歴史地図を掲載している。また、世界文化遺産や歴史的景観について、写真付きで取り上げている。歴史地図には各地の名所や祭り、日本の統計には国宝・重要文化財数の項目を設けるなど、地域の宝といえる資源の保護・活用に関心が向くように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次には、ページの種別ごとにマークが付けられ、児童が見やすくなるように工夫されている。巻頭には、イラストが入った世界地図を掲載している。第3～6学年まで長く活用できるように、全ての国名が記載されるなど、児童の興味・関心や発達の段階を考慮したつくりとなっている。</li> <li>○ 発色が良く、光の反射を適度に抑えた用紙を使用し、見やすだけでなく、児童が書き込みをする場合にも対応している。</li> <li>○ 地図中の文字や記号は大きく、字体も丸ゴシック系の親しみやすいものを使用している。また、色のみによる文字や図形の判別を避け、形を変えて区別するようにしている。配色およびデザインについて専門家による検証を行っている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校の地図帳との接続を見据え、ゲーム感覚で楽しく取り組める問題や、地図帳から考えや発想を膨らませる応用問題を設け、地図への関心や地図を読む力が高まるようにしている。</li> <li>○ 外国語との関連が図られるよう、巻頭の世界地図では国名や産物などの書体が、同社が発行する外国語の教科書と同様になっている。世界の料理や日本の郷土料理の資料を掲載し、食育や家庭科で活用できるようにしている。</li> <li>○ 地図及び索引で全市町村名を網羅している。統計資料、索引にページを割き、行間をあけて見やすくしている。また、索引にはチェック欄を設けて積極的に活用できるように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 地図

	発行者の番号・略称	46 帝国	教科書の記号・番号	地図 304
	使用学年	3 ~ 6		
観点	書名	楽しく学ぶ 小学生の地図帳		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図を初めて学習する第3学年の児童が楽しみながら学習できるように、巻頭にイラストや会話形式を多用している。主体的な学びから深い学びにつながるように、全学年に対応した「地図マスターへの道」を掲載し、巻末に児童が自らの取組を記録するページを配置することで、達成感を得られる構成となっている。</li> <li>○ 第3学年でも読み取りやすい要素を精選した地図（160万分の1図）と、第4学年以上向けのより詳細な表現の地図の順に配列されており、発達の段階に応じて使い分けができるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 方位や地図記号などの地図のきまり、索引や縮尺などの地図帳の使い方を14ページにわたって扱っている。会話形式の解説と課題提示により、地図を活用する上での基本的な知識や技能を確実に理解、習得できるように工夫されている。</li> <li>○ 防災に関するページでは、様々な自然災害と防災への備え、先人たちが残した教訓が掲載され、防災・減災への理解を深める資料を児童自身が選択して学んだり、防災マップづくりなどの活動に取り組んだりすることができるように工夫されている。</li> <li>○ 東西南北の端の島々と我が国固有の領土について、写真とともに解説が掲載され、日本列島と周辺諸国の位置関係が正しく理解できるようにしている。京阪神、愛知、東京について、大きくて見やすい都市圏図を設け、観光や産業、防災など様々な学習要素に着目できるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の世界地図に、主体的な学びを促すための書き込み式の問いを掲載している。索引は、国名や都道府県名、県庁所在地を赤色文字、日本の歴史地名を青色文字に統一して表記することで、見付けやすくしている。</li> <li>○ 耐性のある用紙を表紙に使用し、さらに摩擦や汚れを防ぐことができるようにポリプロピレンシートを貼っている。</li> <li>○ とめ・はね・はらいを正しく表現したユニバーサルデザイン学参フォントを独自開発して使用している。独自の黄緑色を加えた5色で印刷することにより、土地の様子を鮮やかに表現している。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史的現象を地理的空間の広がり結び付ける工夫をしている。また、中学校段階で、社会的な見方・考え方を働かせながら地図帳を活用していけるように、「地図マスターへの道」を設けている。</li> <li>○ 物語や曲の由来の土地をイラストと言葉で紹介し、国語科や音楽科でも活用できるようにしている。主要な国名や首都名に英語を付記し、外国語活動や外国語科との関連も図られている。</li> <li>○ SDGsの特設ページを設けており、今日的課題を把握し自分ごととして解決策を考えられるように工夫されている。統計資料にある二次元コードを読み取ることで、ワンクリックで地図化やグラフ化ができるようになっている。</li> </ul>		

種目名 算数

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	算数 112～612
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	新編 新しい算数		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次世代を担う子どもたちには、予測困難な社会の中で様々な未知なる課題に向き合い、他者と協働しながら解決し未来を切り拓く力が不可欠であるという方針のもと、幅広い知識と教養を身に付け、創造性を培い、筋道立てて考え、自立的、協働的に課題を解決する力を養うことをめざした編集となっている。</li> <li>○ 各学年において、前後の学年の内容も視野に入れ、児童の発達段階、単元の相互の関連や領域のバランス、学習効率、指導の時期などを十分に考慮して、系統的・発展的・効果的に学習が積み上げられるように単元が配列されている。基礎的・基本的な内容を繰り返し学習することに重点が置かれている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末「新しい算数プラス」では、各単元の練習問題と対応した補充問題が数多く用意されている。また、復習ページ「おぼえているかな？」では、つまずきが多い問題を厳選し、習熟度を向上させることができるようになっている。</li> <li>○ ノートづくりを重視し、単元内の「今日の深い学び」では、ノートを用いて、本時で働かせた数学的な見方・考え方を省察することや、ICT機器を活用した際には、思考の整理の場としてノートを活用することが例示されている。</li> <li>○ よりよく問題解決しようとする姿や、発展的に考えようとする姿が例示されている。日常生活と学習場面を関連付け、学習することの意義や学習内容の有用性を実感することができるように構成されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭「学びのとびら」では、ノートづくりの基本的な例を取り扱っている。巻末「新しい算数プラス」では、個別最適な学びの支援として難易度別に2種類の問題が用意され、個に応じた選択的に取り扱うことができるようになっている。</li> <li>○ 第1学年①では、教科書のみを使用してノートづくりの素地を培える判型（A4判）、紙質、体様（中綴じ）になっている。また、第6学年は、中学校に向けて合冊構成となっている。</li> <li>○ 色数を減らして落ち着きを出し、余白を生かしたレイアウトとなっている。カラーユニバーサルデザインを徹底しており、自社開発のUDフォントを採用し、文字の視認性がよくなっている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次において、単元の左右にそれぞれ「前の学習」と「後の学習」を設けて、学習の継続性が分かるようになっている。また、中学校数学を見据え、同一領域の内容を適度に隣接させ、関連付けながら取り扱うことができるように工夫されている。</li> <li>○ 他教科等との関連が分かるようにマークを付して明示している。また、論理に基づいて判断することを積み重ねることで、自他の価値を尊重する態度を養うなど、道徳教育との関連に配慮している。</li> <li>○ 世界レベルで活躍している人物が自身と算数の関わりについて語るコラム「私と算数」を新設している。キャリア教育の教材の一つとしても活用することができる。</li> </ul>		

種目 算数

観点	発行者の番号・略称	4 大日本	教科書の記号・番号	算数 114～614
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	新版 たのしい算数		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的で深い学びを実現するため、見方・考え方を働かせながら思考力、判断力、表現力等の伸長を図るとともに、主体的に学習を進め、学びに向かう力が一層高められることをめざして編集されている。また、豊富な適用問題や補充問題により、基礎・基本が確実に定着できるように編集されている。</li> <li>○ 学習内容の系統性、領域のバランス、他教科等との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列を組んでいる。「巻頭」「本編」「巻末」の3部構成となっており、「巻末」には、補充問題や既習事項のまとめが掲載され、児童が学習状況に応じて、適宜活用することができるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎時の適用問題を豊富に掲載するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたって設定している。単元末の「たしかめ問題」には、「しっかりチェック」を設け、個に応じた指導の際に柔軟に活用できるようにしている。</li> <li>○ 「学習のまとめ」に、考え方に焦点を当てたまとめを取り入れている。また、「ひらめきアイテム」を設定し、学習を進める中で汎用的に使える見方や考え方を獲得したり、獲得した見方や考え方を活用したりするように工夫されている。</li> <li>○ 単元の導入では、児童自身が問題や疑問を見出し、主体的に学習に取り組める題材が扱われている。「ふくろう先生のかなるほど算数教室」では、算数が社会で生かされていることを実感できるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次に既習事項や今後の学習とのつながりが示されている。また、巻頭には教科書やノートの使い方とともに、学習の進め方を算数の問題解決の流れとしてサイクル状に示し、生活や他教科等に学習を生かす様子も掲載している。</li> <li>○ 使いやすく機能的な紙面構成により、既習事項の振り返りや学習の見通しがしやすくなっている。第1学年では、入学直後の学習内容を分冊化し、判型を大きくし扱いやすくしている。</li> <li>○ 文節単位での改行するとともに、全面的にUDフォントが使用されている。また、書く領域の区別は色だけでなく、形状でも判別できるようにしている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では保育園・幼稚園とのつながりを示唆するオープニングページ、第5、6学年では中学校の学習との接続を意図したコーナーを設けている。第6学年の巻末「数学の世界へ」では、数学につながる問題・活動等、豊富な内容を取り上げている。</li> <li>○ 他教科等との関連がある学習には「他教科リンクマーク」を付けており、算数科での学びが活用されるように工夫されている。また、友達の考えのよさを見付けることを促す記述を取り入れるなど、道徳教育との連携にも配慮している。</li> <li>○ 多くのページに二次元コードを設け、筆算方法の動画視聴や図形の変形などをコンテンツ上で行うことができる。算数の学習を通して、SDGsを知ることができるページも設けている。</li> </ul>		

種目名 算数

観点	発行者の番号・略称	11 学図	教科書の記号・番号	算数 116～617
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	みんなと学ぶ 小学校 算数		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「個」と「集団」の両方の学びが深まることを編集の基本理念としている。算数という教科を通し、数学的・論理的な視点や思考を育みながら、様々な物事に対して、多様に対応していき、他者とも協働的に取り組んでいくことができる児童を育てることをめざしている。</li> <li>○ 連続して扱うことで身に付く学習内容と、スパイラルを意識することで身に付く学習内容を選別し、より児童が学びやすいような単元配列になっている。また、本文と練習問題の分量のバランスや、無理のない時数配分に配慮し、児童が学習内容を確実に身に付けることができるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動を通して学習を進めることで、知識・技能を教え込むのではなく、児童自らが率先して学びに取り組み、自然に知識を身に付け、さらに身に付いた学習内容を確認できるよう、練習問題が配置されている。</li> <li>○ 思考力を育むために、多様な考え方が随所に示されている。また、言葉での説明、図や表を使った説明などの活動を随所に取り入れることで、様々な表現力を育むことができるように配慮されている。</li> <li>○ 導入や各題材において身の回りの事象や、児童の興味・関心に応じた内容を扱うなど、積極的に算数の学習に取り組み、さらにそれを身の回りの事象などに還元することができるように配慮されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭では、前学年でどんな資質・能力を身に付けてきたかを領域ごとにまとめたページを設定している。巻末では、「ほじゅう問題」のページを設け、基礎・基本の確実な習得ができるよう配慮されている。</li> <li>○ AB判を採用することで、開きやすく、作業や書き込みなどがしやすい製本になっている。また、用紙やインクは環境に配慮したものを採用している。</li> <li>○ 目に優しく判別のしやすい色使いがされている。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えたりして、明確に区別できるように配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年以上の上巻では、「○年生で見つけた見方・考え方」を設定し、前学年で学んだ学習を領域ごとに振り返ることができるようにするとともに、どんなところで見方・考え方を見つけたかがひと目で分かるようになっている。</li> <li>○ 伝統文化、環境教育、国際理解、安全・防災教育、キャリア教育、情報教育について取り上げる等、様々な学習との関連が図られている。また、豊かな情操や道徳心を育むため、道徳科の題材を素材とした課題も設定されている。</li> <li>○ 「倍」の概念は、児童にとって理解が難しいため、第3学年以上では特別単元として扱い、重点的に学習できるように編集されている。</li> </ul>		

種目名 算数

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	算数 118～618
	使用学年		1 ～ 6	
	書名		小学算数	
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「問いつづけ、よりよいものを求めて改善しつづける子どもを育てる」という基本方針の下、内容が構成されている。問いからめあてをつくる場面、主体的・対話的な学びを通して問いを深め、納得する場面、新たな問いへとつなげる場面をマークで明示し、問いの連続性を実感できるように工夫されている。</li> <li>○ 系統性や習熟期間などを考慮し、最適な学習効果が得られるように単元配列が工夫されている。また、基礎・基本の内容と、選択的な内容に分け、無理なく習得できるようにするとともに、単元の学習や家庭学習において、定着を図るために十分な分量の問題が用意されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単位時間の知識・技能のまとめに「まとめアニメーション」を設け、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようになっている。巻末の「学びマップ」では、下学年の内容も「まとめアニメーション」で振り返ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元の前半で見出した数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」で顕在化し、後半の学習で自ら活用していけるようになっている。さらに、「つながるミカタプラス」では、見方・考え方を領域を超えてつなぎ、算数のコツをつかめるようにしている。</li> <li>○ 問題発見力・問題解決力・問題追究力の三つの力に焦点をあてたモデル単元を設定し、未来を切り拓くための資質・能力の育成をめざしている。新学年の始めの「授業開き教材」により学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるよう配慮している。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の練習問題は、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」に分けて、習熟度に応じて練習問題の量を調整できるようにしている。また、巻末「Let's Try」や「広がる算数」では、児童の興味・関心を刺激する探究的な教材を掲載し、より深く算数のおもしろさを味わう授業ができるようにしている。</li> <li>○ 全学年B5判で、第1学年と第5、6学年は各1冊で構成されている。第2～4学年までは、各2冊に分冊されている。</li> <li>○ 専門家の監修のもと、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、紙面でもデジタル画面でも、見やすく読みやすいUDフォントを採用している。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元導入などでは、既習事項との関連を図りながら学習内容を広げていけるようにしている。また、巻末には既習事項の一覧を掲載し、関連する内容を適宜確認できるようにしている。</li> <li>○ 少子高齢化社会に関する題材を取り上げるなど、教科等横断的に取り組める教材を設けている。また、道徳科との関連を図り、互いのよさを認め合う心を育てることができるようにしている。</li> <li>○ 問題解決型の授業の流れに沿った学習展開で構成するとともに、内容や見方・考え方の系統性が分かりやすくなるように工夫している。また、主体的な学びのきっかけをつくる導入活動や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などが分かりやすくなるように工夫している。</li> </ul>		

種目名 算数

観点	発行者の番号・略称	61 啓林館	教科書の記号・番号	算数 120～620
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	わくわく 算数		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が主体的・対話的で深い算数の学びを通して、将来の予測が困難といわれる未来の社会を生き抜いていく力を身に付けるために、1人1台端末を有効に活用しながら、自身や友達との対話による深い学びや、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。また、国際的な学力調査（PISA、TIMSSなど）で課題とされる学習意欲の向上にもつながるよう工夫されている。</li> <li>○ 学びのつながりを重視した構成となっており、児童にとって学びやすい。同一領域の内容が続かないように配列する等、内容の系統性だけでなく、習熟に要する時間や時期にも配慮されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元に既習事項を確認できるよう「じゅんぴ」を設定することで、新たな学習の基礎的な知識・技能がスムーズに習得できるようにしている。また、「復習」や「練習」のコーナーを適切に設けて、確かな理解の定着が図れるように配慮している。</li> <li>○ 思考力・判断力・表現力等を日常の生活に生かし一層伸ばしていくことができるよう、「学びを いかそう」のコーナーを適宜設けている。</li> <li>○ 児童が興味・関心をもって学習に向かうことができるよう、また、身の回りの事柄や既習事項から算数の学習へと入っていけるように工夫している。「学びを いかそう」では、日常の場面で算数を活用する課題を取り上げ、算数の有用性を感じ、学び続けようとする態度を育めるよう工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭「学びのナビゲーション」では、教科書の使い方や学習の進め方などについて触れられ、授業のイメージがもてるように工夫されている。</li> <li>○ 全学年B5判で、第5、6学年は各1冊で構成されている。また、第1学年は、新分冊「すたあと ぶっく」の巻頭に「わくわく すたあと」を設け、幼児期の体験を算数の学びへとつなげていくことができるようにしている。</li> <li>○ 紙面の内容を判別しやすい配色やデザイン、UDフォントが採用されている。また、色だけで判断しないように文字情報も添えられている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語科との関連として、言語能力の育成と言語活動の充実が図られるよう配慮されており、説明のときに使う言葉やノートの書き方を紹介したり、読書や日記に関する問題を取り入れたりしている。</li> <li>○ 植物や動物を題材として多く取り上げ、また、町内清掃や牛乳パック回収の話題にも触れ、環境の保全に寄与する態度が育めるよう配慮している。</li> <li>○ 動画などの二次元コードを数多く用意し、児童が必要と感じたときに解決のヒントを確認できるようにするなど、児童一人ひとりの実態にあった最適な学びが実現できるように配慮されている。</li> </ul>		

種目名 算数

観点	発行者の番号・略称	116 日文	教科書の記号・番号	算数 122～622
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学算数		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現のために、筋道を立てて考え表現するための学び方を明示している。また、生活や学習の基盤となる算数の礎を築き、基礎的・基本的な力の確実な定着を図っている。さらに、算数科の楽しさやよさを感じられるようにするとともに、身近に数学を感じ、幅広くいかせるよう工夫している。</li> <li>○ 単元前の「次の学習のために」「本単元」、単元末の「学習をたしかに」、学期ごとの「学期の復習」「学年末の復習」により、反復練習を行うことで、基礎的・基本的な知識や技能の習得・定着を図る工夫が施されている。また、「倍」に関する内容を単元化し、第3～6学年まで系統立てて配置している。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単位時間に「めあて」と「まとめ」を明示し、学習の流れを分かりやすくしている。また、巻末に「〇年までに学習したこと」を設け、今までに学んだ知識・技能をいつでも振り返ることができるようにしている。</li> <li>○ 児童の発言等を用いて、問題解決の方法の見通しを立てたり、結果の見積もりを行ったりしながら学習を進めていけるようにしている。また、複数の単元や領域を結び付けた内容を用いて、理由や方法などを説明する記述式の問題を扱っている。</li> <li>○ 算数の楽しさやよさを感じられるように、「使ってみよう」では作業的・体験的な活動や、学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図っている。また、単元末の振り返りコーナーでは、学びたいことの例などを児童の言葉を通して伝えている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭では、算数の学習の進め方を知らせ、真理を求める学習態度が育てられるよう工夫している。巻末「算数マイトライ」は、習得・活用・探究を意識した教材を豊富に用意し、また、答えを掲載しているため、習熟に応じた自学自習も可能となっている。</li> <li>○ 全学年判型はB5判とし、児童の重量負担の軽減のため、第1～4学年までは各2冊に分冊している。高学年は中学校との連携から1冊に合本している。</li> <li>○ 図形の色を統一し、色文字の使用を抑えて読みやすい落ち着いた色のある紙面にし、UDフォントを使用している。当該学年以上の配当漢字には、ページ毎に初出する際に振り仮名を付けている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科担任と学級担任が授業進度を共有できるよう、しおりの紐を付けている。高学年で特に必要と思われる単元には、中学接続マークを付け、学習のつながり示している。第1学年では、文字が未習でも二次元コードから内容を音声で聞くことができる。</li> <li>○ 道徳科と関連して「自分でみんなで」では、自分の考えの説明や友達と話し合う場面を示すことで、互いを尊重し理解する態度を示している。都道府県の人口密度、シュートの入る割合等、社会科、体育科などの他教科等と関連した題材を取り上げている。</li> <li>○ 多くのページに二次元コードを取り入れ、リンク先で筆算の方法を見たり、映像上の図形の切断をしたりすることができるなど、現実では難しい操作を確認することができる。</li> </ul>		

種目名 理科

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	理科 307～607
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	新編 新しい理科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題解決の過程を児童にも分かりやすく示し、自ら見出した問題を解き明かしていく中で、真理を求める態度を育て幅広い知識を身に付けるという方針の基に編集されている。</li> <li>○ 全単元の導入に「レッツトライ」、問題解決の要所に「問題をつかもう」が設けられたり、教科書の内容を補完する豊富な動画コンテンツが配置されていたりと、児童の主体的な学びを保障する工夫がされている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「まとめ」は、「問題」と正対した簡潔な表現でまとめられており、問題解決につながるよう配慮されている。観察・実験の場面で活用できるように、資料や動画コンテンツが用意されている。単元末には、調べてきたことや、各節の「まとめ」の内容が習得できるように「ふりかえろう」が設けられている。</li> <li>○ 児童が深く考え、他者と対話しながら思考力、判断力、表現力等の育成を図る場面は「のぼそう！理科の力」のマークで強調し、動画コンテンツが用意されている。単元末の「たしかめよう」では、各学年で重点的に育成すべき問題解決能力を確認する問題を設け、育成状況を見取ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 児童の興味・関心を高める質の高い写真やイラスト、読み物などを多く取り上げ、自然を愛する心情や主体的に問題解決に取り組もうとする態度が養われるように工夫されている。単元末に「こんなところにも！理科の世界探検部」を設け、学んだことを日常生活や社会とつなげ、学習意欲を高める工夫もされている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「理科の学び方」では、問題解決の各段階のポイントと流れが分かるように示されている。巻末の「デジタルコンテンツで学びを広げよう」では、コンテンツの種類が紹介されていて、必要に応じて活用できるよう配慮されている。</li> <li>○ A4判の紙面を採用し、問題解決の過程が見取りやすく工夫されている。動画コンテンツを活用し、ページ数を削減し軽量化が図られている。</li> <li>○ 見やすく、間違えにくいように開発されたUDフォントが全ての文字に採用されている。多色の仕様を控え、全体の色調が緑とオレンジで統一されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入ページに「思い出そう」が設けられ、既習事項との関連が図られている。第6学年の巻末の「1年間をふりかえろう」では、中学校の内容を紹介し、中学校との関連を意識しながら学びを振り返ることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 随所に「思い出そう」を設けることで、他教科の既習事項との関連が図られている。その他、「こんなところにも！理科の世界探検部」では、理科と芸術やテクノロジーとの関連についても取り上げ、STEAM教育にも対応している。</li> <li>○ 全学年の巻末に、理科で学んだことなどをSDGsにつなげるページを設けたり、「かんきょうマーク」を示したりすることで、持続可能な社会をつくる力を育むよう工夫されている。</li> </ul>		

種目名 理科

観点	発行者の番号・略称	4 大日本	教科書の記号・番号	理科 308～608
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	新版 たのしい理科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自然から学び、科学的に考えること」を通して理科の問題解決の力を身に付けながら、理科のおもしろさや有用性を実感するとともに、情報を活用することができるようになることを方針として編集されている。</li> <li>○ 季節と関連の深い単元を最適な時期に配列し、効果的に学習が進められるように工夫されている。実験器具や理科室の使用が学年間で重複しないように、各学年の単元配列が工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発展・応用的な位置付けである「学んだことを生かそう」では、知識・技能を活用する能力を身に付けることができるように、児童の思考の流れに沿った単元構成になっている。</li> <li>○ 巻頭で、それぞれの学年で育成する問題解決の力を中心とした「理科の学び方」を明示し、主として育成する力には「☆」印をつけて分かりやすくしている。問題解決の過程での話合いの様子をイラストで表現したり、結果のまとめ方を例示したりと、問題解決の力を身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>○ 体験的な活動や問題を見出す活動、自主的に学習する場면을重視しつつ、「深めよう」や「りかのたまてばこ」、「サイエンスワールド」などの読み物を通して、学習内容を日常生活に当てはめ、理科を学ぶ意義や有用性を感じられるよう工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭では大きな写真や単元導入のイラストを掲載し、児童の興味・関心が高まるように工夫されている。巻末には、器具の使い方を身に付けるための「使い方を覚えよう」や次学年の学習への興味・関心を高めるための「〇年生になったら」が掲載されている。また、「ノートの書き方」や「タブレットを使ってみよう」を参考にしながら情報機器を活用しながら記録する技能を身に付けることができるように工夫されている。</li> <li>○ 大判であるA4判を採用しており、1ページ当たりの情報量が多く、全単元で問題解決の過程が分かりやすく示されている。また、写真やイラストがダイナミックかつ豊富に掲載されている。</li> <li>○ 全ての児童が内容を理解しやすいように、全面的にUDフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインを踏まえて配色を工夫したりしている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元初めに「〇年で学んだこと」を明示し、既習事項と関連させながら学習できるように工夫されている。学年間や小・中学校間で系統的に学習することについて、「発展」や「〇年生になったら」に掲載されている。</li> <li>○ 「算数科とつなげよう」を掲載し、グラフや表からきまりを見付ける学習など、算数科の学習と関連させながら系統的に学習を進めることができるようにしている。</li> <li>○ 実験方法や器具の使い方を学べる二次元コードが実験ごとに設けられている。また、各学年にSDGsやSTEAM教育との関連を意識した図やイラストが掲載されており、学習した内容を現代社会で必要とされる視点で捉え直すことができるようにしている。</li> </ul>		

種目名 理科

観点	発行者の番号・略称	11 学図	教科書の記号・番号	理科 309～609
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	みんなと学ぶ 小学校 理科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これからの社会の中で、「子どもたち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくために、個々の考えを尊重しながらともに問題解決をしてゆき、高め合う力の育成が重要である」という考えのもと、「みんなと高め合い、つながる理科」を理念として編集されている。</li> <li>○ 働かせる見方を「ゴースル」で、付けたい資質・能力を「理科モンスター」で示し、本文と連携させている。学習後や単元末には振り返りの場を設け、自身の学びや変容を確かめることができるような配列となっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入では既習事項や生活経験を想起するための身近な自然現象を紹介したり、学習後や単元末では「できるようになったこと」で、自身の学びを振り返る場を設けたりするなど、学びのつながりが意識されている。単元末の「やってみよう」や「活用」では、ものづくりや生活とつなげた具体例が掲載され、学んだことを生かす場面が設けられている。</li> <li>○ 各単元冒頭の「できるようになりたい」では、単元の特性に合わせた資質・能力が三つずつ示されており、段階的に問題解決の力を育成することができるように工夫されている。</li> <li>○ 四季折々の生き物を紹介したり、美しい自然の写真を多用したりすることで、児童の自然への興味・関心が高められたり、児童が命の素晴らしさに気付いたりするように配慮されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭には、風景写真とともに科学者の名言が掲載されている。また、問題解決の過程が八つのステップで示されていたり、各学年で育成をめざす資質・能力が示されていたりする。巻末では1年間の学びの中で自分にどんな力が付いたのかを振り返ることができるようになっている。</li> <li>○ AB判の横幅を生かして、特に単元の導入では写真を大きく掲載し、単元における問題を見出しやすくしている。</li> <li>○ 文字は読みやすいUDフォントを採用している。試葉の色の変化について色名を表記したり、実験結果の写真は比較しやすいように並べてレイアウトしたりするなど、専門家の校閲を経て、どの児童にも見やすく分かりやすいつくりとなっている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特に、第3学年では、児童の活動の様子が導入で示されており、児童の興味・関心や就学前施設での体験、生活科の学習内容とのつながりが意識できるつくりになっている。また、「はってん」では次学年や中学校との学習内容とのつながりが示されている。</li> <li>○ 算数科で学ぶグラフや社会科で学ぶ方位など他教科等の内容に関して、紙面に丁寧に説明を入れることで、積極的に理科で扱うことができるようになっている。</li> <li>○ 記録や発表の方法などを複数提示することで児童が個別に選択して活動することができる。また、「ふりかえろう」では個別に振り返りが行えるよう二次元コードが掲載されており、個別最適な学びが意識されている。</li> </ul>		

種目名 理科

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	理科 310～610
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	未来をひらく 小学理科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「子ども一人ひとりが持続可能な社会の創り手として活躍するために必要な力を育成すること」をめざし、そのために必要な力として「自ら問題をみつけること」「みんなと一緒に問題を解決していくこと」を取り上げ、児童自身が「なぜ」を見付けながら問題解決を進められるようにすることを基本方針として編集されている。</li> <li>○ 問題解決的な学習を進めるために必要な見方・考え方を「カギ」として明記するとともに、考えを表現する際の型の例示をしており、思考力、判断力、表現力等を育成できるように構成されている。予想や結果、考察等の場面で対話形式のイラストが掲載されており、問題解決の過程の参考にできるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識を「結論（わかった）」に示すとともに、習得したことの定着を確認する知識のまとめや、振り返る場面が随所に設けられている。観察・実験の記録例や実験器具の使い方を示し、実験の安全性を高めるとともに、実験技能を確実に習得できるように工夫されている。</li> <li>○ 各学年で主に育成する力について、教師の問いかけと児童の考えの例示で明解に表現され、問題解決の力を確実に育成できるように工夫されている。問題解決の終末部では、「学習前と学習後の考えの変化」が児童の言葉で記載されており、考えの深まりが捉えやすくなっている。</li> <li>○ 「科学のまど」や「資料」などのページでは、学習内容と実生活とのつながりや科学者からのメッセージなどが記載されている。児童が、学習の意義や科学の広い世界を映像資料とともに実感しながら意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭では、SDGsの視点で科学と生活とのつながりが掲載されている。目次では、学習の進め方や話合いの仕方、ノートのまとめ方が掲載され、巻末では、読み物資料が掲載されている。</li> <li>○ AB判より少し大きな判型を採用することで、資料写真を大きく表現し、子どもの興味を高めている。</li> <li>○ 読みやすくするための工夫として、全ての記述が文節で改行されている。見やすく読み間違えにくいUDフォントを採用するとともに、あらゆる児童の視覚特性に配慮して、色以外による区別や、色名の表示が明記されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習のつながり」では、次学年や中学校の学習内容との関連が示され、児童が既習事項を生かしながら学べるように工夫されている。</li> <li>○ 「算数科の学習とのつながり」では、算数科で学習する内容と理科の学習とのつながりが分かりやすく説明されている。</li> <li>○ 「理科の安全の手引き」が裏表紙に示され、教科書を開かなくても、安全に留意しながら実験が行えるように配列されている。また、巻末の「ミニずかん」では、学年に応じた内容を見開きで掲載し、学びの振り返りや発展学習ができるようになっている。</li> </ul>		

種目名 理科

観点	発行者の番号・略称	26 信教	教科書の記号・番号	理科 311～611
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	楽しい理科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 信濃教育会が編集してきた長い歴史や伝統を引き継ぎ、地域の身近な自然の事物・現象に親しみながら楽しく追究できる教科書をめざして、多くの学校の実践や研究をもとに編集されている。</li> <li>○ 児童が身の周りの自然の事物・現象を見直し、問題を見出すことから単元の学習がスタートできるようにしたり、季節の特徴や生物の生育状況、学校行事の時期を考慮して単元を配列したりするなど、多くの学校での実践を基に構成されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項や生活経験を呼び起こすために「思い出そう」のマークを示したり、学習問題に対し、観察・実験・調査を通して見出した「わかったこと」を簡潔にまとめたり、豊富な資料が用意されたりするなど、児童が主体的に問題解決を進めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 「見つけよう」のマークを示し、既習事項や既有経験を想起して話し合う活動を設定すること、「方法を考えてみよう」のマークを示し、見通しをもった観察・実験が行えるようにすることなど、児童同士の話し合いや児童自らの発想を生かしながら学習が進められるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が対象に直接働きかけることを大切にしており、「しらべてみよう」、「やってみよう」の体験を通して、学ぶ楽しさと学び方の豊かさを広げ、学習を深める工夫がされている。直接働きかけることができない対象については、写真・絵図・動画コンテンツなどの資料を用意し、学びを補完できるようにしている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「問題解決学習のための『理科の学習の進め方』」では、主体的・対話的で深い学びを実現するための流れが、分かりやすく図で示されている。巻末には「インターネットで調べてみよう」が掲載されており、調べ学習の参考となるよう配慮されている。</li> <li>○ ABワイド判で紙面にゆとりをもたせ、見開きページでは、連続した表現となるような構成を取り入れることで、児童の追究意識や意欲が持続的に高められるようにしている。</li> <li>○ 重要語句は太字で強調されている。色覚特性に対応し、より多くの人に必要な情報が伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入ページに「思い出そう」が設けられ、既習事項との関連が図られている。「はってん」や第6学年の巻末では、中学校の内容を紹介し、中学校との関連を意識しながら学びを振り返ることができるようにしている。</li> <li>○ 主に算数科との関連が図られ、気温や溶解度の変化をグラフで表したり、てこを傾ける働きを式で表したりしている。その他、観察・実験のまとめ方や話し合いの進め方などについて国語科における学習が活かされるようにしている。</li> <li>○ 主に第6学年の教科書において、SDGsの内容を取り上げて環境教育に配慮したり、災害の資料を載せることで防災意識を高めたりするよう工夫されている。</li> </ul>		

種目名 理科

観点	発行者の番号・略称	61 啓林館	教科書の記号・番号	理科 312～612
	使用学年	3 ～ 6		
	書名	わくわく理科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校理科を「未来を担う子どもたちが初めて出会う科学的思考の場」と捉え、豊かな自然に直に触れ、問題を見出し、他者と協働しながら問題解決を行う「科学的な営み」を大切に編集がなされている。</li> <li>○ 単元内では、問題解決の各過程を大きく示すとともに、すべての過程を「学びのライン」としてつなぎ、学びの見通しをもちやすくしている。問題解決の鍵となる理科の見方・考え方には目印が付してあり、意識しやすくなっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末に「まとめノート」を設定することで、学習内容を分かりやすくまとめる習慣付けを行っている。「たしかめよう」では基礎・基本の定着を図る問題が、「活用しよう」では応用力や説明力の向上を図る問題が掲載されている。これらの問題は解説が充実しており、個別最適な学びが行えるように配慮されている。</li> <li>○ 各学年で育成をめざす問題解決の力が育まれるように、登場人物の会話の中に、理科の見方・考え方を取り入れたり、色付けしたりと、実験や考察についての思考の整理を助ける工夫が施されている。</li> <li>○ 実生活や実社会と理科とのつながりが大切にされている。「理科の広場」や「くらしとリンク」などでは、理科に関わる身近な題材を多く掲載することで、理科への興味・関心を高め、理科を学ぶ意義や有用性を実感できるようにしている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「理科の楽しみ方」に、問題解決の過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階に分けた「学びのサイクル」を示している。また、巻頭でICTの効果的な活用例を「活用の目的」とともに掲載している。巻末には、映像から情報を読み取り、端末上で問題に答えるCBTコンテンツが掲載されている。</li> <li>○ タブレットを含めた児童の机上スペースや視覚による情報受容を考慮し、AB判を採用している。</li> <li>○ 見やすく読み間違えにくいUDフォントが採用され、各学年の発達の段階に応じて、フォントサイズが調整されている。第3、4学年は親しみやすいオレンジが、第5、6学年は集中力を高めるブルーがメインカラーとして使われている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入の「思い出そう」では、前学年までの学習や日常生活での経験を取り上げている。また、「発展」や「中学校」マークの表記により、次学年や中学校との学びのつながりを意識することができる作りとなっている。</li> <li>○ 各学年の巻末に「算数のまど」を掲載し、算数科と連携を図りながら学習が進められるようになっている。他教科等との関連についてはマークで示している。また、STEAM教育とSDGsについてもマークで示され、理科との関連付けがなされている。</li> <li>○ 全学年に「With the Earth」のコーナーを設け、科学の視点で捉えた防災・減災、自然からの恵みについて紹介している。また、二次元コードを用いて問題の解説などを掲載している。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	生活 117 118
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2年間の生活科の学習で、豊かな学びを繰り返し、生涯にわたる学びの基盤を身に付けていけるように、「児童の生き生きとした活動を支える教科書」「生活科の学びを見える化した教科書」「令和の日本型教育を実現する教科書」という三つの基本方針に基づいて編集されている。</li> <li>○ 各学校におけるカリキュラム・マネジメントに資するように、学習指導要領の内容を適切に組み合わせて単元が設定され、柔軟に単元を組み替えることができるように配慮されている。また、四季の変化を意識しながら生活や学習ができるように、季節の流れを軸に、時系列で単元が配列・構成されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無自覚だった気付きが自覚化される児童の姿が写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで具体的に示されている。また、「やくそく」や「かつどうべんりちょう」など、学習活動に即した習慣や技能を身に付けるための資料が掲載されている。</li> <li>○ 気付きを確かなものとしたり、関連付けたりしていくために、表現や交流する学習活動が随所に掲載されている。また、気付いたことを基に考えるヒントをまとめた「やって みよう 考えよう」と「やって みよう くふうしよう」が下巻末に設けられている。</li> <li>○ 思いや願いの実現に向けて粘り強く取り組む様子や、状況に応じて自ら働きかけをし、学習の調整をしている様子が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで示されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児期の育ちを小学校の学習につなぐ、入学から2週間の生活科の学習活動が「どきどき わくわく 1ねんせい」に掲載されており、生活科の時間を活用して、全ての学校で適切にスタートカリキュラムが編成できるように配慮されている。</li> <li>○ 自社で開発した専用の軽量用紙が使用されている。また、掲載内容の厳選と二次元コードを用いた内容の充実により、これまでの同社のものと比べて軽量化が図られている。</li> <li>○ 小単元名、本文、手洗いマーク、やくそくなどを同じ位置に配するなど、特別な支援が必要な児童も含め、全ての児童が分かりやすいようにレイアウトが工夫されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活科で育成された資質・能力が、中学年以降の学びの基盤となることがイメージできる「つながる ひろがる」が設けられている。また、地域を繰り返し探検する活動を通して、空間的な認識が広がり、社会的な見方・考え方の素地が養われるよう、町の鳥瞰図が工夫されている。</li> <li>○ 国語科や算数科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動との関連を図るための指導のヒントや表現活動、製作活動が豊富に掲載されている。</li> <li>○ 二次元コードを利用した特設コンテンツとして「コンピューターを学習に生かそう」が設けられ、様々な場面での効果的な活用の例が示されている。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	4 大日本	教科書の記号・番号	生活 119 120
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活科の学びを通して豊かな心・人間性を育み、これからの社会を生き抜く力を育てるため、「子どもの思いに寄り添い、具体的な活動が生まれる教科書」「豊富な資料で子どもの学びを支える教科書」「子どもにも先生にも生活科の学びが見える教科書」という三つの基本方針に基づいて編集されている。</li> <li>○ 季節の流れに沿った大単元構成で、児童の意識に沿って無理なく季節と活動を結び付けることができるように工夫されている。また、個々の活動単元の組み替えが容易にできるように配慮されており、2学期制や3学期制どちらでも柔軟に対応できる構成になっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特設ページ「がくしゅうどうぐばこ」に豊富な資料を掲載し、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得を図れるように配慮されている。また、体全体を使った活動を意識し、活動に即して必要な習慣や技能が身に付くように配慮されている。</li> <li>○ キャラクターや教師の投げかけによって、児童自身が考え、気付きの質を高めることができるように工夫されている。また気付きを共有する場面を適切に設け、気付きを関連付けたり深めたりすることができるように配慮されている。</li> <li>○ 単元の導入は見開きのダイナミックな写真や絵で構成するなど、児童の興味・関心を引き出し、思いや願いを基に主体的な活動が始まるように工夫されている。また、活動後の振り返りから次の活動へとつながる流れを意識して紙面が工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻巻頭に、スタートカリキュラムに配慮したページが設けられており、学校生活に見通しをもつことで不安を解消し、幼児期に慣れ親しんだ遊びで仲間づくりを進めるなど、児童が安心できる学習環境づくりができるように流れが工夫されている。</li> <li>○ A4判で製本されており、児童の興味・関心を高める写真やイラストがダイナミックかつ豊富に掲載されている。閲覧だけでなく書き込みにも対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 文字は読みやすい書体を使用し、大きさ、分量についても十分に配慮されている。活動を振り返る際には、学習過程が分かるように写真を時系列に例示するなど配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下巻の最終単元では、これまでの成長を振り返るとともに、児童が自信と意欲をもって、第3学年以降の学習に臨めるように流れが工夫されている。</li> <li>○ 生活科の活動や体験が他教科等の学習に広がり、発展すると同時に、他教科等の学習成果が生活科の活動に生きるように、相互の関連について配慮されている。特に、他教科等との関連が深いページには、そのつながりが分かるマークが記されている。</li> <li>○ タブレットを使って活動中に記録を撮る、拡大して観察する、振り返る場面や発表時に電子黒板を使用するなど、ICTを活用する場面が例示されている。Webコンテンツ内には保護者向けの文言例も掲載し、家庭との連携を円滑に図れるようにしている。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	11 学図	教科書の記号・番号	生活 121 122
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みえる」「つながる」「ひろがる」を大きな三つの特色とし、構成されている。特に児童の側に立つ発想をもとに、児童の知的好奇心を満たすための様々な要素を取り入れるように工夫されている。</li> <li>○ 学習内容を精選することで、対象に関わる時間が確保された構成になっている。活動や体験の内容ごとにテーマをもった単元構成となっており、各単元冒頭では、児童の思いや願いを軸に無理のない活動展開になるよう配慮されている。また、活動時期を限定せず、自由に学習時期を組み替えたり、軽重を付けて指導したりすることができるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等の基礎</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元が長期的に継続する活動として設定されている。また、人々と社会、自然といった対象と繰り返し関わり、気付きを深めていけるように工夫されているとともに、自分自身と関わらせて考えられるように工夫されている。</li> <li>○ 各単元において自己決定の場面を大事にしており、主体的に活動していく中で自分や自分の生活について考えられるように構成されている。また、考えたことなどをカードなどに記録していくことを重視しており、単元末では多様な表現でまとめ、振り返ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 全単元を通して、キャラクターや児童が意欲的に活動している様子が取り上げられている。また、振り返りの場面が充実しており、児童が自身の成長やよさに気付くことができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻の冒頭には、「はじまるよ しょうがっこう」と「がっこうたんけん」を設け、入学当初の児童がスムーズに安心して学校生活に適應できるように工夫されている。上下巻末には、「学び方図かん」や「あんぜんのページ」が掲載されている。</li> <li>○ 判型は、A4変形判を採用する一方で、軽量化にも配慮し、軽くて強度の高い用紙が使用されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインの考え方に則り、本文の見出しやカードの位置を揃えたり、見やすく分かりやすい色使いやフォントを使用したりしている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元は、それぞれ学習テーマをもった課題解決型の活動で構成されている。飼育・栽培単元や遊び単元では、総合的な学習の時間の素地が養えるような構成となっている。</li> <li>○ 言語活動を重視している。また、表現活動を中心に他教科等の学習内容との関連が図られており、他教科等で学んだことをカードに記録し、遊びをよくしようとする際に生かすことが可能になっている。</li> <li>○ 情報の収集場面や発信場面では、さまざまな手段を例示し、情報についての素地が身に付くように工夫されている。下巻「学び方図かん」では、インターネットの使い方を掲載している。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	生活 123 124
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活科で育成することが求められる資質・能力を引き出すことを重視している。各小単元で特に発揮すると効果的な力を示す「きづく」「かんがえる」等の学習活動をサイコロで表し、学習のめあてを把握できるように工夫されている。</li> <li>○ 学校から地域への活動の広がりや、諸感覚を使った自然体験から自然のもつ力について考える思考の高まりなど、上巻から下巻へと、発達の段階に応じて児童の行動範囲や気付きが広がっていくように工夫されている。振り返りや友達と伝え合う活動が豊富に設定され、学習内容の定着に重点が置かれている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等の基礎</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な人々、社会や自然と繰り返し関わる体験活動が十分に設定されており、それぞれのもつ特徴やよさに気付くことができるように工夫されている。「やくそく」や「できるかな」等のコラムで生活上必要な技能や習慣が適切に位置付けられている。</li> <li>○ 各単元に、コラムとして「ヒント」が設けられており、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの学習方法を繰り返し行うことができるよう工夫されている。資料がクイズ仕立てになっていたり、創造力や想像力を必要とする「もしも」が設定されていたりするなど、考えたくなるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元導入「わくわくスイッチ」や単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付けて主体的な学びが展開できるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のイラストと小学校生活の写真を並べて掲載し、幼児期の総合的な学びが生活科を中心に円滑に移行することが示されている。巻末の「学びのポケット」は、各教科の内容で整理されており、適宜それらの知識や技能を使って学習できるように工夫されている。</li> <li>○ A4判で製本されており、表紙には、汚れ等に強く抗菌加工されたコーティングが施されているなど、丈夫なつくりとなっている。</li> <li>○ 文字はUDフォントが使用され、文字や記号が写真やイラストに重ならないように配置されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コラム「はってん」と特設ページで理科、社会科とのつながりを明示し、第3学年の学習を見に行く活動を設けるなど、接続を考えて構成されている。生活科で総合的に学んだ知識や力を他教科等へとつなげることができるように工夫されている。</li> <li>○ 道徳科と関連付けたコラムがあり、公共の場での約束やマナーを身に付けることができるように工夫されている。</li> <li>○ 二次元コードを通じて、安心・安全なサイト「まなびリンク」に接続でき、1人1台端末による個別最適で協働的な学びができるように工夫されている。ICT活用時の注意事項、ルールやマナーが丁寧に掲載されている。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	26 信教	教科書の記号・番号	生活 125 126
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「児童と身近な自然や社会、人々をつなぐ、ぬくもりのある教科書」を編集の概念とし、多数の小学校の研究や実践をもとに構成されている。人間愛の育成を理念とし、家族や仲間、地域の人々との響き合い、支え合いの場面を大切にするとともに、幼児や高齢者、障害者などと触れ合い、自分の在り方に気付くことができる。</li> <li>○ 「いつものぼしよ」や「さんぼみち」などの単元を設け、四季を通して繰り返し直接体験ができるように工夫されている。「うれしいな いちねんせい」や「二年目の 春」を設け、今ある自分から生活を豊かに広げていく楽しさを感じられるような構成となっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が思いを込めて活動に打ち込む姿や、比べたり試したりしながら手応えを感じ、気付きの質を高めていく姿など、実践に基づいた児童の姿や発せられる言葉が、挿絵や写真で提示されており、活動へのきっかけとなるように配慮されている。</li> <li>○ 観察カードや日記などを要所に示し、記録に残して振り返ったり思いを伝えたりすることの意義が示されている。体験を振り返り味わう「表現活動」が多く示されるとともに、より深い学びにつながるように友達同士の学び合いや情報交換の場が位置付けられている。</li> <li>○ 活動が真に児童のものとして展開されるために、吹き出しや表情豊かな写真や挿絵などにより、児童の願いから立ち上がるきっかけを示したり、学びの深まりや広がりにつながる活動への触発性を大切に表したりすることができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻巻頭に、入学期の児童の発達の特徴を考慮し、遊びをはじめ、具体的な活動や体験が示され、総合的に展開できるように工夫されている。</li> <li>○ 縦書きで書かれており、右開きで製本されている。AB判で、写真やイラストが多く用いられており、活動への触発と期待感を高めるように工夫されている。</li> <li>○ 写真やイラストが大きく、観察カード等の文字も鮮明で、児童にとって見やすい紙面になるように工夫されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞き取りやインタビュー、地域調べ等、他教科等との関連や、第3学年以降の教科との関連、情報機器の活用等、総合的な学習の時間との関連にも配慮されている。</li> <li>○ 栽培に取り組むことによる収穫の喜び、様々な調理体験を通じた生産の楽しさ、季節の歌や言葉についての内容等が単元に組み込まれており、他教科等との関連が図られている。</li> <li>○ 「たんごのせっく」「たなばた」「おつきみ」等の地域の行事に込められた人々の願いや思いを感じたり、調べたりする活動を大事にし、人々と関わりながら暮らしをつくっていきけるように構成されている。また、教科書の内容と関連する動物や植物、活動例等の資料が閲覧できるURLや二次元コードが設けられている。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	生活 127 128
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が自分たちの生活を新たな視点から前向きに「探検」していくことが生活科の学びの在り方であると捉え、児童の視点に立ち、一人ひとりが夢中になって新たな世界を探検しながら、理想的な学びが達成されていくことを編集の方針としている。また、「個性を生かし、主体的な学びを深める」、「対話的・協働的な学びを広める」、「学びを積み重ね、自覚的に高める」の3点を基底に編集されている。</li> <li>○ 小単元は、活動が一覧できるように、見開き完結の構成になっている。全単元が、導入、展開、振り返りで構成されており、学習の見通し、体験活動や気付きの高まりの例として、児童の自己決定による体験と、主体的な表現活動が具体的に示されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等の基礎</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活で必要な習慣や技能は、学習活動の中で自然と身に付くように位置付けられているほか、別冊「ひろがる せいかつじてん」にまとめられており、児童が必要に応じて持ち歩いたり、自発的に確認したりしやすくなっている。</li> <li>○ 思いや願いを実現する過程において、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動で分析的に考えたり、試す、見通す、工夫するなどの学習活動で創造的に考えたりしている児童の様子が写真や作品例などで、豊富に示されている。</li> <li>○ 単元末の振り返りページでは、児童が友達との対話の中で活動を振り返り、多様な表現活動で自分の気持ちをまとめることによって、自分の成長を実感し、今後も意欲や自信をもってよりよい生活を送ろうとする態度を養うことができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全小単元に「ふりかえろう」コーナーが設けられ、内容のまとめごとにと児童が「情意面」と「資質・能力面」から学習を捉え直し、自身の学びや変容を自覚できるように工夫されている。</li> <li>○ 上下巻に別冊資料編の分冊があり、低学年にとって、本編は学習の流れが分かりやすく、資料編は児童の主体的な学びを支えられるように、多彩で豊富な内容になっている。</li> <li>○ ユニバーサルデザイン及びカラーユニバーサルデザインについて、専門家の校閲を受けている。全ての児童が読みやすいように配慮して、文字数や字間が調整されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下巻には、地域に関わる単元やおもちゃ作り単元等が設けられ、社会科や理科等、中学年以降の学習に有機的に結び付けられる活動が豊富に示されている。</li> <li>○ 各教科で育てたい資質・能力との関連を考慮し、相互の学習効果が高まるように、他教科等との合科的・関連的な指導のヒントが随所に示されている。</li> <li>○ 多様性を大切にして自己肯定感を育むことができるように、伸び伸びと自分らしく学んでいる児童の姿が、親しみやすい文章と絵で表現されている。観察や記録、発表時に、児童がICT機器を活用している例が写真で示されている。</li> </ul>		

種目名 生活

観点	発行者の番号・略称	61 啓林館	教科書の記号・番号	生活 129 130
	使用学年	1 ~ 2		
	書名	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人や社会、自然と関わりながら、これからの新しい時代を生きるための資質・能力を育むとともに、豊かな人間性を醸成することを目標として、児童が夢中になって思いや願いを実現しようとする学習活動を設定している。低学年の発達の段階と特性に配慮した新しいICTの活用例を提案できるように編集されている。</li> <li>○ 単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、思いや願いの実現に向けて学びが連続的・発展的に繰り返されることで問題発見・解決能力が育成できるように工夫されている。9月末～10月初旬に単元の区切りがあり、2学期制にも対応できるように配慮されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能の基礎</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「びっくりずかん」や「デジタルたんけんブック」には、児童の知的好奇心や探究心を喚起する多様な資料が掲載されており、知識の習得をサポートし、気付きの質を高められるようになっている。</li> <li>○ 多様な表現活動や交流活動が掲載されており、思考を深め、豊かな表現力が身に付くように工夫されている。また、児童の気付きの質を高めるための支援として、教師の言葉がけや学習環境の例が具体的に示されている。</li> <li>○ 「できるかな、できたかな」コーナーでは、学習を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感することで、満足感・成就感などの手応えを感じ、次の学習への安定的で持続的な意欲が育まれるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上巻巻頭の「すたーとぶっく～がっこうだいすき いちねんせい」の単元に、幼児期に親しんだ遊びを取り入れた活動で心と体をほぐす様子を例示し、児童の人間関係が豊かに広がるように配慮されている。</li> <li>○ AB判の判型で製本されており、視覚的に情報を受け取りやすい。表紙には厚い用紙が使用され、汚れや濡れに強い加工が施されている。</li> <li>○ 小単元名、本文、コーナー、マークなどは決まった位置に固定されている。また、本文などの基本的な文字のフォントはUDフォントを採用している。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下巻の巻末「ステップブック～みらいに むかって～」では、2年間の生活科を振り返る活動を通して満足感等を感じ、自信と意欲をもって第3学年に進級できるように配慮されている。</li> <li>○ 他教科等と関連がある活動には、合科的・関連的な学習活動を示すマークが付けられており、カリキュラムを編成する際に参考にできるように配慮されている。道徳科と生活科の学習効果が相互に高められるように、道徳科の学習に関連する紙面を充実させている。</li> <li>○ これまでの教育現場の実践にICTを効果的に組み合わせたハイブリッドな授業モデルの一例として、具体的な活動とその活動に適した学習環境がイラストや写真で示されている。</li> </ul>		

種目名 音楽

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	音楽 103～603
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学音楽 音楽のおくりもの		
1 編集 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「豊かな情操を培い、学びに向かう力を育む」「丁寧なステップアップと編修上の工夫で、先生方の授業を支える」「一人ひとりの子どもたちに寄り添う」の三つの観点を基本方針とし、児童が主体的に音楽活動に取り組みながら、着実に資質・能力を育み、学びが深まるよう編集されている。</li> <li>○ 全学年を通じた領域・分野ごとの系統性に基づいて教材が配置され、発達の段階に応じて無理なく学力を身に付けることができるよう配慮されている。各題材内の教材は特性を生かしながら関連・対照・対比して設定されており、表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることで学習が深まるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音楽を形づくっている要素」について、その働きを意識しながら学ぶことができるよう見開きごとに「音楽のもと」として記載されている。繰り返し練習することによって基礎的・基本的な事項が身に付けられるような教材が配置されている。</li> <li>○ 見通しをもって学んだり、学習を深めたりできるように学び方を示唆する「まなびナビ」のコーナーが設定されるとともに、「学び合い」の例が随所に示され、協働的な学びを引き出すように工夫されている。</li> <li>○ 1年間の学習の見通しをもつことができる「学習マップ」が示され、各題材で学習する内容が分かりやすく解説されている。中学年以上では、主体的な学習を引き出すために「学習の進め方」が示されている。</li> </ul>		
3 使用上の 便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末には、音楽を形づくっている要素や音楽を表すいろいろな言葉をまとめた資料、中学年以上は折込のリコーダー運指図が配置され、児童自身が確かめながら学習に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>○ AB変形判により、主体的に学習を進められるよう、内容や情報量が読みやすく示されており、軽量で手に持って歌うときも負担が無いよう配慮されている。</li> <li>○ 判別しやすい配色やレイアウト（カラーユニバーサルデザイン）、表現方法、文字（ユニバーサルフォント）の使用など、細部にわたり配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全校合唱教材が掲載され、発達の段階に合わせた編成で、全校で歌う一体感や楽しさを経験できるように工夫されている。中学校で学ぶ内容を発展的に扱った箇所には「はってん」のマークが示され、中学校で学ぶ内容が導入段階として扱われている。</li> <li>○ 巻末の曲集部分に「Short Time Learning」のコーナーが設けられ、既習曲の英語歌詞や英語の歌等が掲載されており、他教科等の内容と関連させながら音楽を楽しむことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 歌唱共通教材は、折込ページや見開きで歌詞の内容に忠実な美しい写真が掲載されている。歌詞から想像される情景や季節感を重視し、子どもの興味・関心を引き出す工夫がされている。</li> </ul>		

種目名 音楽

観点	発行者の番号・略称	27 教芸	教科書の記号・番号	音楽 104～604
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学生の音楽		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びが見える」「学びがつながる」「楽しさを大切にした学び」の三つのポイントを重視して全体が構成されている。楽しみながら音楽の学びと向き合い、学んだことを関連付けたり活用したりし、音楽を学習する喜びや楽しさを紙面から感じ取ることができるように編集されている。</li> <li>○ 系統性及び発展性をもって組織化された題材を軸に、表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比されながら組み合わせられており、教材の特性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように配列されている。歌唱や演奏の技能については、発達段階を考慮した無理のない構成となっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容に関する吹き出し、思いや意図を実現するために役立つ写真やコラムが適切に配置されているため、児童にとって学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすく、曲想と音楽の構造との関わりについての気付きや理解を促すものとなっている。</li> <li>○ 児童の作品例やワークシート例のほか、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されるなど、児童が表現から思いをもったり意図をくみ取ったり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。</li> <li>○ 児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す教材や特集が配置されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭には、年間を通した学習の見通しをもてるように各学年の概要を示した「学習マップ」、巻末には、学期末や学年末、題材のまとまりごとに学習したことを振り返って確認したり関連付けたりすることができる「ふり返りのページ」が設けられている。</li> <li>○ 紙面の大きさはAB変形判で、レイアウトも見やすく統一感がある。用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用している。</li> <li>○ 区別しやすい配色を用い、形状や濃度を変えることで識別できるように配慮され、イラストや写真は、必要な情報に注目できるようシンプルなデザインが採用されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の発達の段階に応じて音楽的な見方・考え方を働かせながら学習を積み重ねていくことができるよう、題材は、学年間の関連を系統立てた構成となっている。また、小・中学校を通した9年間の学びのつながりにも配慮されている。</li> <li>○ 調べ学習や英語の歌、日本の古典芸能などが適切に配置され、生活や社会と音楽との関わり、道徳教育や人権教育にも配慮されるなど、児童の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、他教科等との関連が図られている。</li> <li>○ 生涯にわたって豊かに音楽に親しむ態度を養い、次世代の文化を担う子どもたちを育成するという観点から、著作権について考えるきっかけとなる特集ページを設けている。</li> </ul>		

種目名 図画工作

観点	発行者の番号・略称	9 開隆堂	教科書の記号・番号	図工 105 106 305 306 505 506
	使用学年	1 ~ 6		
	書名	図画工作		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 造形感覚や感性を働かせ、自主性や積極性を促す、興味や関心の高まる魅力ある題材内容の工夫が見られる。また題材ごとに学習のめあてを三つの観点で示している。児童に育成したい資質・能力については、象徴的なキャラクターマークで表示し、三つの資質・能力に関するヒントを吹き出しで投げかけることで学習のヒントや見方・考え方を伝えるように工夫されている。</li> <li>○ 身近な材料を使った題材から始まり、段階的に発想や構想を広げていけるよう系統的に題材配列が工夫されている。また、表現と鑑賞を一体的に扱ったり、一つの題材での学習が次の題材につながったりするように題材と題材のつながりが工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各題材でのつくり方や用具等の技能・知識は写真やイラストで示されている。安全な用具の使い方などの知識や技能は、巻末の「学びの資料」にまとめられ、各題材のページには、関連のページが明示されているため、確認しやすい。</li> <li>○ 発想・構想を広げることが中心的な課題となっている題材においては、学習のめあてに下線が引かれ、思考力、判断力、表現力等に関するキャラクターにより、発想・構想を促すような投げかけが吹き出しで示されている。</li> <li>○ 各題材で「学習のめあて」と「振り返り」が示されている。三つの観点を踏まえためあての中で、重点的に育成を図りたい力については、赤字で強調され、児童と教師が意識して学習に臨むことができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年のカリキュラムが折込ページに系統的、構造的に示され、1年間の学習の見通しをもつことができる。巻末では「これまでのふりかえりをしよう」のページを活用し、1年間の学習で培った資質・能力を確かめることができるようになっている。</li> <li>○ 白色度が高く、裏写りの少ない用紙が使われ、印刷も作品のもつ微妙なニュアンスや質感が鮮やかに再現されている。A4判サイズ、2学年毎に上下2冊構成である。</li> <li>○ 誰にでも分かりやすく、読みやすいようにデザインされたUDフォントが使用され、学年に応じて文字の大きさが変えられている等、工夫されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の最初のページでは幼稚園教諭が登場して、幼稚園や保育園での活動を思い起こさせながら、図画工作の学習に希望を抱かせる構成となっている。また、中学校「美術」への接続では、最終の折込ページで「未来へつながる図画工作」が設定され、小学校図画工作の学びが今後に生かされることが示されている。</li> <li>○ 各題材に「あわせて学ぼう」として教科名とともに、具体的な活動を想起させる文章が示され、教科等横断的な学習への手だてとなるように構成されている。</li> <li>○ 各題材に二次元コードが掲載され、用具の安全な使い方やつくり方などの動画、参考作品例、ワークシート等が利用できるようになっている。</li> </ul>		

種目名 図画工作

発行者の番号・略称	116 日文	教科書の記号・番号	図工 107 108 307 308 507 508	
	使用学年	1 ~ 6		
観点	書名	図画工作		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 変化の激しい時代に、未来をつくり出す創造力を身に付けられるように、「好奇心から始まる深い学び」「対話を通して豊かな感性を育む」「創造力を、生活・社会・未来へつなげる」の三つの方針を掲げている。「やってみたい」を引き出す情景写真、見通しと振り返り、表現と鑑賞の関連、協働的な学びの促し、ICTの活用など、現代的課題にも幅広く配慮した編集としている。</li> <li>○ 発達の段階に応じ、低学年「まるごと たのしもう」、中学年「ためす見つける」、高学年「わたしとひびき合う」とそれぞれテーマが設定されており、系統的な学習が展開できるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手のアイコンによって、形や色について理解することや材料・用具を工夫して使うことを促したり、それぞれの材料や用具の特性に合わせたヒントを示したりしている。各巻末に「材料と用具のひきだし」のページを設定し、題材ページと関連付けて技能の習得を促すように工夫されている。</li> <li>○ つくりたいものやつくり方を自分で考えるよう促したり、作品や活動のよさや楽しさを感じたりできるように、材料や技法、活動場所、鑑賞作品などが図版として幅広く紹介されている。</li> <li>○ 児童が主体的に学習に臨めるように、学習のめあてが三つの観点別に分かりやすい言葉とアイコンで示されている。また、題材ごとに、活動を通じて感じたり考えたりしたことを、文章や対話によって振り返ることができるような働きかけと例示がある。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭には、各学年で大切にする視点やポートフォリオ的な学習の蓄積を働きかけるページが配してある。「教科書美術館」「図工のみかた」「広がる図工」「アート・カードを楽しもう」などが配され、児童の発想を刺激しながら多様な表現や鑑賞の活動を促すように工夫されている。</li> <li>○ 裏写りをしない、軽量化した良質コート紙が使用されている。A4判サイズ、2学年ごとに上下2冊構成である。</li> <li>○ 全ての児童が等しく学べるように、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、見やすく読み間違えにくいUDフォントを採用し、学年に合わせた文字の大きさに調整されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1・2上では、幼稚園・保育園での体験を想起させる写真が掲載され、経験を生かしながら小学校への学習に向かう意欲をもてるように配慮されている。5・6下の教科書では、6年間の学びを振り返り将来に生かそうというメッセージが添えられている。</li> <li>○ どの題材でも他教科等や総合的な学習・SDGsなどとの関連が明示されている。国語科で出会う物語や詩などを基に発想を広げて表す題材など他教科等と関連して学ぶ題材が掲載されている。</li> <li>○ 家庭、地域、未来とのつながりについても働きかけがなされている。二次元コードで、全国の児童作品、授業で使えるWebアプリ、メッセージ動画、「ずこうたいそう」など、多様なコンテンツを利用することができる。</li> </ul>		

種目名 家庭

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	家庭 503
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	新編 新しい家庭		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭科を「生活をよりよく変えていく教科」と掲げ、児童に生活していく楽しさを実感させ、力強く未来を拓くための資質・能力を育成することを目指して編集されている。また、全ての題材が、①「見つめよう」②「計画しよう・実践しよう」③「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで展開されている。</li> <li>○ 家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定しており、ガイダンスの折り込みや題材の導入に示すことで、児童が生活についてこれらの見方・考え方を働かせながら考えられるように工夫している。学習内容・実習内容が、基礎・基本から応用へと児童の発達の段階に応じて系統的に配列されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な技能を「いつも確かめよう」で示している。単なる技能習得に終わらないように、基礎的・基本的な技能を実習とセットで扱い、実生活で生かせるように配慮している。</li> <li>○ 3ステップで学習を展開する中に「活動」を配置し、児童が学習を進めながら思考力・判断力・表現力の育成が図られるように配慮している。</li> <li>○ 「生活の課題と実践 生活を変えるチャンス！」では、学習を振り返り、学んだことを生かして、生活を変えるための新しい課題を解決する実践例が掲載されている。また、取り組みやすいように長期休業の時期に三箇所設定されている。コラム「プロに聞く！」では、家庭科に関連する職業に従事する人へのインタビュー記事を掲載し、仕事や生活への興味が高まるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「成長の記録」は、各題材の学習後に記入することで、第5、6学年の2年間を通したポートフォリオとなり、自分自身の成長を実感することができる。また、各学年の最後には、「まとめ」のページを設定し、学習の振り返りに活用できる。</li> <li>○ 判型はA4判を用い、一つの実習を見開きで概観することができる。また、開いた状態で実習の手順を確認しながら実習できるレイアウトになっている。</li> <li>○ より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字を使用している。また、丈夫かつ軽量の紙を使用し、重量による身体的負担の軽減に配慮している。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校家庭分野、他教科等と関連する内容にはマークとともに対象学年の学習内容が明記されており、関連付けて学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 脚注に家庭科で使用される用語や調理器具の英語での表記を掲載するなど、外国語科との関連も示されている。</li> <li>○ SDGsや防災教育、道徳教育に関連するコーナーが配置されたり、キャリア教育、生活の中にある伝統文化やプログラミングが紹介されたりしている。また、衛生・安全教育についての特集ページが掲載されている。</li> </ul>		

種目名 家庭

観点	発行者の番号・略称	9 開隆堂	教科書の記号・番号	家庭 504
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	わたしたちの家庭科		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が主体的に学ぶ楽しさを体験し、学びを生かすことで、新たな課題を見付け、ものの見方・考え方を広げて成長していくことを大切に編集されている。各題材は、課題に「気づく・見つける」、知識や技能を「わかる・できる」、学びを生活に「生かす・深める」の三つのステップで構成されている。</li> <li>○ 各学年のテーマの下、ストーリー性を考慮した題材配列がなされ、見通しや目標をもって学習できるように工夫されている。衣食住の題材は易から難へと、さらに季節感を考慮して配列され、最終題材には他者との共生、持続可能な社会の構築につながる題材が配置されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題解決の手掛かりとなる例示や写真・図表・イラスト等が、適切に記載されている。確実に知識や技能が身に付くように学習過程に「できたかな」というチェックを取り入れ、児童が主体的に学習を進められるように配慮されている。</li> <li>○ 導入時や学習過程で「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」等の課題が適切に配置されている。特に、児童が交流しながら課題解決に取り組む場面が随所に設定されている。</li> <li>○ 各題材は「学習のめあて」で始まり、「生かす・深める」活動が設定され、最後には「ふり返ろう・生かそう」で家庭での実践につながるように工夫されている。「生活の課題と実践」は、課題設定から実践の評価とその改善策に至るまでの五つのステップと具体例を示しながら、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイダンスが表紙から始まっており、巻頭は誕生から中学生までの時間軸と、家庭・地域・社会へと広がる空間軸の広がりを表し、2年間の学習の流れが紹介されている。巻末は、キャリアインタビューや生活の中のプログラミング、実習に役立つワンポイントなど、様々な資料が提示されている。</li> <li>○ A4判とすることで、写真やイラストを大きくしたり、紙面をゆったりと設計したりするなど、見やすく、分かりやすくなるように工夫されている。</li> <li>○ 視認性の高いUDフォントや見やすい配色、一つの単語が行をまたがない、横流れの手順等、誰にでも使いやすいように工夫されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「2年間の学習を中学校につなげよう」のページを設け、中学校の学習の概要、小学校での学習とのつながりが見えるように工夫されている。</li> <li>○ 他教科等の学習と関連する学習内容に「関連リンク」が設けられている。小学校で学習する英単語で家庭科に関連する言葉を掲載し、外国語科との関連も示されている。</li> <li>○ SDGs、防災、プログラミング、キャリアなどの多様な視点が学習内容に関連して取り入れられている。47都道府県全ての事例が、食文化やキャリア教育のテーマで取り上げられている。</li> </ul>		

種目名 保健

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	保健 306 506
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	新編 新しい保健		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、全ての児童が輝く未来へつながる資質・能力の育成をめざして編集されている。</li> <li>○ 健康についての課題を「自分ごと」として捉え、主体的に学習することができるように「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という四つの項目で構成されている。基本的に1項目が1単位時間4ページで構成されており、児童が学習の流れを理解し、見通しをもって学習できるように編集されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識が本文で簡潔にまとめられており、大切な部分はゴシック体で分かりやすく示されている。学習した内容をまとめる活動や理解の程度を自己チェックできるようにしてあり、知識の定着を図ることができよう工夫されている。</li> <li>○ 4段階の学習活動を設定し、生活場面を想起させる写真やイラストがダイナミックに配置されており、児童が身近な例から健康課題を見付けることができるように工夫されている。</li> <li>○ 学習活動を行った後に学習の課題を確認することで、学びをより自分のこととして捉えることができるように工夫されている。また、自分の生活を見直す活動を設けることで、学習したことを実生活で生かせるように配慮されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピアン・パラリンピアンの経験や実践が取り上げられ、児童のオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まるように工夫されている。また、各項目末の資料を中心に性の多様性やSDGs等多くの今日的な健康課題が取り上げられて編集されている。</li> <li>○ A4判を採用し、書き込みがしやすいように記入欄を拡大するなどの工夫がみられる。軽量で丈夫な再生紙を使用し、重量による身体的負担が軽減するように配慮されている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインの視点から、全ページの配色や色に関わる表現を工夫したり、紙面の色数を限定したりすることで、誰もが見やすいレイアウトとなるよう配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健の内容について系統性のある指導ができるように、「∞」マークが随所に設けられ、他学年の内容との関連が図りやすくなるように工夫されている。</li> <li>○ 章とびらの「∞つなげよう」や本文ページで、学習内容と他教科等との関連を随所に示し、教科等横断的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 動画、シミュレーション、ワークシート、図鑑、Webページ、思考ツール等多彩なデジタルコンテンツが多くあり、二次元コードを読み取ってアクセスすることができる。また、児童に身に付けてほしいスキルを扱っている資料には、「スキルマーク」を付け、児童に命や健康をどのように守るか考えることができるように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 保健

観点	発行者の番号・略称	4 大日本	教科書の記号・番号	保健 307 507
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	新版 たのしい保健		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康や安全についての課題を自分のこととして捉え、自ら学習に取り組み、考えたことを仲間と伝え合うなどして、思考を広げたり深めたりしながら、能動的に自分や周りの人の健康について考え行動する力が育まれるように編集されている。</li> <li>○ 「見つける」「考える やってみる」「まとめる」「広げる 深める」という学習の流れが毎時間のページに示されている。「考えよう」「話し合おう」「調べよう」など、具体的な活動が示してあり、児童が思考・判断し、互いに表現しながら協働的な学びができるように構成されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに学習内容を分かりやすく図解し、本文で基礎的・基本的な学習内容を理解しやすい言葉で明示するなど、学習すべき内容を確実に習得できるように工夫されている。また、章の終わりに知識及び技能を定着させるための問題を設定し、学習した内容を振り返ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 自分の生活と比較したり、関連付けたりするなど、課題について思考・判断した上で、対話や記述で表現することを通して、学びを深めていくことができるように工夫されている。</li> <li>○ 導入の「つかもう」では、児童に身近な題材を設定し、児童が主体的に読む、書く、調べる、話す活動に取り組み、よりよい生活や人間関係を自主的に形成する態度が育まれるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健の学習が自分の夢や目標を叶える力になるというコラムや、著名人が健康について気を付けていることのインタビューなどを取り上げ、学習意欲が高まるように工夫が施されている。</li> <li>○ 環境に配慮した再生紙を使用するとともに、A4変型判の大きな判型を生かして記入スペースを適度に設け、思考・判断したことを表現できるようにしている。写真やイラストは鮮明で美しく仕上げられており、見やすくなるように工夫されている。</li> <li>○ 読みやすい位置で改行し、全面的にUDフォントを使用するとともにカラーユニバーサルデザインを踏まえた配色となっている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の学年の学習に積極的に取り組めるように、巻末ページが工夫されていたり、中学校での学習とのつながりをマークで示したりするなどの工夫がされている。</li> <li>○ 他教科等に関連した題材を適宜扱うとともに、保健の学習内容が他教科等と関連していることが分かるようにマークを使って示されている。</li> <li>○ 児童が興味・関心をもって学習に取り組み、学習内容を理解し、広げることができるよう、デジタルコンテンツが充実していることに加え、SDGsや多様性について、児童の発達の段階に合わせて資料や解説を掲載し、これらと関連付けて学習ができるように工夫されている。また、家庭や地域において保健で学習したことを活用できるよう、活用の場所を示した「いえで」「ちいきで」マークが随所に示されている。</li> </ul>		

種目名 保健

観点	発行者の番号・略称	50 大修館	教科書の記号・番号	保健 308 508
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	新 小学校保健		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な生活の中から課題を発見し、対話的な活動や記入スペースを活用しながら自分の考えを表現する活動を通して、児童が主体的に取り組み、深い学びにつながる授業の実現をめざして編集されている。</li> <li>○ 「課題をつかもう」「きょうの課題」「まとめ生かそう伝えよう」というシンプルな学習過程で構成されている。課題解決の過程が分かりやすく示されるとともに、教材の分量を適量にすることで児童がしっかり学習に取り組む時間が確保されており、ゆとりをもって学習することができるように編集されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題を「きょうの課題」として示し、学習すべき内容を明確にするとともに、基礎的・基本的な知識が本文中で簡潔にまとめられている。毎時間の学習の最後に「ほけんクイズ」を行うことで、学んだ知識の確実な習得につながるように工夫されている。</li> <li>○ キャラクターと吹き出しを適宜配置し、思考を広げたり深めたりできるように工夫されている。対話的な活動が十分に行えるように自分の考えを記入する頻度やスペースの最適化を図るなど、思考力・判断力・表現力等を育成できるように構成されている。</li> <li>○ 課題解決活動を行った後に自分の生活を見直し、自己の課題を修正できる活動を取り入れることで、学んだ内容をより自分のこととして捉えることができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の冒頭のページでは、健康や安全について、著名人とキャラクターとの対話形式で取り上げられており、児童の学習内容に対する興味・関心が高まるように工夫されている。また、巻頭には、大きなイラストや写真を多用し、保健の学習と身近な生活との関連に気付くことができるように工夫されている。</li> <li>○ A4判を採用し、軽量で丈夫であるとともに、書き込みやすい用紙が採用されている。また、植物油インキや再生紙を使用し、アレルギーや環境にも配慮している。</li> <li>○ 読みやすさに優れたUDフォントや色覚の特性に配慮した配色及びデザインを取り入れるなど、すべての児童にとって見やすく分かりやすい紙面になっている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健の内容について系統性のある指導ができるように、マークが随所に設けられ、他学年の内容との関連が図りやすくなるように工夫されている。</li> <li>○ 「体育の窓」を中心に、運動領域の学習内容を取り上げ、運動と健康との関連について具体的な考えがもてるように工夫されている。また、随所に他教科等との関連が分かるようにマークで示し、教科等横断的な学習ができるように工夫されている。</li> <li>○ デジタルコンテンツが随所に用意されて充実しており、実験やシミュレーション、動画などを活用した学習を通して理解を深めることができるように工夫されている。「資料」には、保健の学習を通して、共生社会の実現や、健康・安全をめぐる今日的課題に関するコーナーが設けられている。</li> </ul>		

種目名 保健

観点	発行者の番号・略称	207 文教社	教科書の記号・番号	保健 309 509
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	新わたしたちの保健		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かけがえのない健康のために、今できることと、これからやっていくことを理解し、今後の見通しをもって学習に取り組むことができるように編集されている。</li> <li>○ 各学年の始めには、見開き2ページで、これから学習することについてイメージしやすい写真を掲載することで、見通しをもって主体的に学ぶことができるように工夫されている。また、イラスト等で学習課題に気付かせ、資料等で知識を習得させた後、各単元の終わりの宣言ページを活用しながら、伝え合う活動を行うことを通して、児童の思考と理解度を確認できるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な生活行動・生活環境の中から学習課題を見つけて自ら解決、理解できるように学習が設定されている。解決に至る過程を思考し、判断できる学習課題を設定することにより、知識及び技能を確実に定着できるように工夫されている。</li> <li>○ 1単位時間の終わりに「もう一歩先の自分へ」として、学習で理解したことを基に、自分の生活の中における実践へとつなげていけるように記述する欄が設けてあり、思考力、判断力、表現力等が自然と身に付くように構成されている。</li> <li>○ 保健室の先生、警察官などのキャラクターの吹き出しを活用することで、学習内容の理解を深めるとともに、児童が自らの能力を伸ばし、自主的・創造的に学習しようとする意欲がいつそう高まるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アスリートからのメッセージを記載し、これからの児童の未来を応援できるように編集されている。病気の予防の学習では、喫煙・飲酒による害を写真資料で提示し、視覚に訴えるように工夫されている。</li> <li>○ A4判で、グラフなどの統計資料が大きく掲載されており、見やすくなるように工夫されている。また、自分の考えを書く欄が多く、たくさん書き込めるようにつくられている。</li> <li>○ 書体や文字の大きさ、色は、ユニバーサルデザイン等の観点に配慮し、レイアウトを含め、読みやすく分かりやすいものに編集されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項について説明する「つぶやきくん」や中学生になる児童に向けて安全な生活を送るために大切なことを説明する警察官などキャラクターを生かして学べるように工夫されている。</li> <li>○ 運動領域の体づくり運動で扱う動きのイラストを引用しており、運動領域との横断的な学習ができるように編集されている。また、「けがの防止」の学習では、家庭科の調理実習の具体的な学習場面が取り上げられている。</li> <li>○ 二次元コードから、「歯の変化のようす」や「アスリートからのメッセージ」、「自分にあった緊張のほぐし方」や「自転車の安全点検」など、豊富な自社制作資料へアクセスし、より深い知識が習得できるように配慮されている。</li> </ul>		

種目名 保健

観点	発行者の番号・略称	208 光文	教科書の記号・番号	保健 310 510
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	小学保健		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育基本法の理念を踏まえ、保健における主体的・対話的で深い学びを実現し、児童が周りの人と協力しながら自分の未来を創造していくために必要な資質・能力の育成をめざして編集されている。</li> <li>○ 学習項目が「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されている。1単位時間当たり見開き2ページを基本の構成としている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元のまとめとなる基礎的・基本的事項は文頭に★マークを付けて示すとともに、大事な用語や文は太字で目立つように工夫されている。各章末に「学習のまとめ」のページを設け、学習内容を選択式の問題で確認することで、知識の定着が図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 「見つけよう」で自分の健康課題を発見し、習得した知識を活用して考える活動や、1単位時間の最後に「学んだことを生かそう」という活動を設定することで、課題解決学習を通じて思考力、判断力、表現力等を総合的に育めるように工夫されている。</li> <li>○ 各章の冒頭に学習内容のイメージがつかめる漫画を掲載し、児童の学習意欲や学びに向かう力を高めるように工夫されている。「学んだことを生かそう」で学習内容を自分の生活に生かす視点を用意することで、児童が自分ごととして学習内容を活用できるように構成が工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童に人気のスポーツ選手やクリエイターからの児童に向けたメッセージを掲載し、健康でいることが、何をするにも力になることが伝わるように編集されている。また、保健を学ぶことの大切さを漫画で示し、親しみをもって学んでいくことができるように工夫されている。</li> <li>○ A4判を採用し、写真やイラストを多く使用することで、児童が興味・関心をもちやすくしたほか、記入欄を大きくし、児童が自分の考えを十分に表現できるように工夫されている。また、表紙・本文ともに環境に配慮した紙が使用されている。</li> <li>○ 全ての児童が見やすい色使いになるように、カラーユニバーサルデザインの視点で全ページの配色や色に関わる表現を確認し編集されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健の内容についての系統的な学びを重視し、他学年で学習する関連内容を「保健○年」という表記で同ページ欄外の脚注に示すことができるよう編集されている。</li> <li>○ 教科等横断的な学びの補助となるように、他教科等との関連項目を同ページ欄外の脚注に「家庭5・6年」というような表記で示すことができるよう編集されている。</li> <li>○ 各単元冒頭に二次元コードを掲載しており、文字や写真だけでは分かりづらい内容を、動画で視覚的に理解することができるように編集されている。</li> </ul>		

種目名 保健

観点	発行者の番号・略称	224 学研	教科書の記号・番号	保健 311 511
	使用学年	3 ~ 6		
	書名	新・みんなの保健		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分や周りの人の健康や、生活と健康との関係について考え、主体的・対話的で深い学びの過程を通して、求められる資質・能力を育成できるように編集されている。</li> <li>○ 項目が「導入（課題をつかむ）」「ピース①（自ら取り組む活動）」「ピース②（対話的な活動）」「ピース③（活用）」という決まった学習の流れで単元が構成されている。また、各項目の最後に、学習の進め方や自ら工夫したことを振り返る記入欄を設け、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度を育成できるように工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活や経験を具体的に振り返る場面が学習の導入段階で設けられていることで、身近な生活における健康・安全について、基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるように工夫されている。</li> <li>○ 「自分で考える」「友達やみんなと考える」「身に付けたことを生かす」という学習活動を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力等を着実に身に付けることができるように配慮されている。</li> <li>○ 各項目で自ら取り組む活動や、友達やクラスのみんなと関わって取り組む活動、学習したことを活用する活動を随所に設けており、主体的、協働的に活動する態度が育成できるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、見やすく、活用しやすいように工夫されている。また、SDGs や共生社会等の現代的な課題について豊富に取り上げられている。</li> <li>○ A4判で、写真やイラストが豊富に掲載されている。また、軽量で丈夫な紙を使用し、2年間の使用に耐えられるように丈夫に仕上げられている。</li> <li>○ 書体や色、表現・配列について誰もが見やすく分かりやすい内容となるように編集されている。また、専門家による検証も行われている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前後の学年の学習内容について、随所に関連を示すコラムである「つなぐ」を設け、保健について系統的に学習ができるように編集されている。</li> <li>○ 口絵や「つなぐ 体育とつなげる」などにより、運動領域との関連を図り、体育科の目標である健康の保持増進と体力の向上につながるように編集されている。また、他教科等との学習内容について随所に関連を示す「つなぐ」を設け、カリキュラム・マネジメントが実現しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 児童が主体的に学びに取り組めるように、1単位時間の学習の流れを統一し、見通しをもって学習に取り組めるよう編集されている。また、各項目に資料「ほけんのはこ」を設け、幅広い知識を身に付け、思考力、判断力、表現力等を養うことができるように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 英語

	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	英語 509 510 609
	使用学年	5 ~ 6		
観点	書名	NEW HORIZON Elementary English Course / My Picture Dictionary		
1 編集の特徴	○ 編集の方針にみられる特徴	○ 「世界へつながるトビラを開こう！」を基本方針として、「世界のことを知りたい!」「もっと英語で思いを伝えたい!」と願い、編集されている。コミュニケーション能力の基礎を育てるとともに、多様性を尊重し、共生の意識をもって世界へつながろうとする心の育成をめざしている。		
	○ 組織・配列にみられる特徴	○ 各Unitは、単元の内容に慣れ親しむ「Starting Out」、学習内容の定着を図る「Your Turn」、コミュニケーションを楽しむ「Enjoy Communication」、世界の文化を知る「Over the Horizon」、学びを確かめる「Check your Steps」で、段階的に構成されている。		
2 学習指導要領との関連	○ 知識及び技能	○ スモールステップで繰り返し学習を積み重ねる単元構成により、目的や場面、状況などに応じた英語で伝え合う力を確実に身に付けることができるとともに、単元目標となる活動を視野に入れながら、音声を聞いたり友達と会話したりして、単元の学習内容の定着を図ることができるように工夫されている。		
	○ 思考力、判断力、表現力等	○ 既習表現を生かして行うやり取りや発表などの学習内容に応じた言語活動が設定されていて、主体的・対話的で深い学びを得ることができるよう配慮されている。画面からの問いかけに対して、児童に伝えたいことを考えさせる「Watch and Think」もあり、目的意識をもって思考を働かせる活動が設定されている。		
	○ 学びに向かう力、人間性等	○ 友達にプレゼントカードを贈ったり、日本各地の観光案内CMを作ったりと児童が主体的に取り組むことができる目的・場面・状況を伴った言語活動が充実しており、「英語を使ってお互いをより深く知る」という相互理解につながっている。		
3 使用上の便宜	○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴	○ 読み書き指導のページが各単元末に設定されている。2年間を通じて文字の名前から音、文へと無理なく学習することにより、スムーズな小中連携が実現できるようになっている。		
	○ 判型・分冊などにみられる特徴	○ 絵辞書である「My Picture Dictionary」を分冊化し、児童が持ち運ぶ教科書などの軽量化につなげている。また、軽くて丈夫な用紙を使用し、書きやすさにも配慮されている。		
	○ ユニバーサルデザインに関する配慮	○ 各単元における学習の流れが見通せるよう、活動を紙面の定位置に提示して、児童に安心感を与えられるように工夫されている。また、児童の集中が保てるように落ち着いた色合いになっている。		
4 その他	○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴	○ 第3、4学年の学習で慣れ親しんできた言語材料について、冒頭の「Let's start!」などで取り上げ、第5学年にスムーズに接続できるように工夫されている。「My Picture Dictionary」においても、中学年の言語材料を参照できるページが設けられている。		
	○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴	○ 国語科や道徳科、社会科などの内容と連携し、教科等横断的な学びが充実する工夫がされている。例えば、日本各地の行きたい場所について、調べたことを基に紹介し合うという、社会科に関連した活動を設定している。		
	○ その他の顕著な特徴	○ 英語特有のリズムやアクセントなどが学べる歌やチャンツ、活動のモデル動画など、豊富なデジタルコンテンツを通じて、児童の学習意欲を引き出すように工夫されている。		

種目名 英語

観点	発行者の番号・略称	9 開隆堂	教科書の記号・番号	英語 511 ~ 612
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	Junior Sunshine / Junior Sunshine Word Book		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自他を大切にすることを育む」「豊かな人間性を築く」「主体的に学習する意欲を高める」の三つの柱を立て教育理念として、国際社会に対応できる資質・能力を育てることを基本方針として編集されている。</li> <li>○ 文字の学習にスモールステップで取り組めるよう、文字指導の活動「Sound and Letters」を用意し、音声から文字への学習が円滑に進むように工夫されている。また、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるよう、すべての単元を8時間配当としており、学習の流れが明確になっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童に英語を身に付けさせるために、互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が充実した構成となっている。また、知識及び技能を確実に習得できるように、繰り返し学習を多く取り入れている。</li> <li>○ 「他者を知る」活動や「自分のことを伝える」活動が充実している。また、他者とのやりとりを通して自分のことを表現したり、相手に尋ねたりしてお互いを知るなど、表現力が身に付くとともに、豊かな人間関係の構築にもつながる活動が設定されている。</li> <li>○ 児童の興味・関心を踏まえて題材を選定し、ペアやグループ、学級全体で考えや気持ちなどを伝え合う場面を多く取り入れ、充実させている。多様な考えに触れ合うことが可能な設定のため、楽しく、協力しながら学び合いに取り組める。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末には、巻末のCAN-DOチェックを用いて評価規準に照らし合わせた自己評価を行うことができる。児童自身が自分の成長や課題を確かめることができ、見通しをもって学習に臨めるようになっている。</li> <li>○ A4判で行間や文字の配置が工夫されており、情報が読み取りやすくなっている。また、別冊の「Word Book」は、絵を手がかりに表現したい言葉などを探せるように工夫されている。</li> <li>○ 文字の読みやすさ、情報の読み取りやすさ、カラーユニバーサルデザインなどに配慮した紙面構成となっている。また、本文の日本語にはUDフォントを使用したり、英語には視認性の高い欧文フォントを使用したりしている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3、4学年の外国語活動で培った素地を中学校で活用できるように、つながりを意識した配置になっている。また、小・中学校でよく使用される語句にマークをつけることで、中学校への円滑な接続を図ることができるように工夫されている。</li> <li>○ 算数科や社会科など、他教科等の学習内容とのつながりを確認しやすくするために各単元に関連する教科のマークが明示されている。また、キャラクターが世界各地を巡る場面を掲載し、SDGsについて考えるきっかけがもてるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が自分のペースで自ら課題について学んだり、学級全体で学んだりすることができるよう、二次元コードからアクセスして視聴するデジタルコンテンツの充実が図られている。</li> </ul>		

種目名 英語

観点	発行者の番号・略称	15 三省堂	教科書の記号・番号	英語 513 514 613
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	CROWN Jr. / CROWN Jr. My Dictionary		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育理念として、英語教育を通して「確かな学力」「国際社会に対応できる資質・能力」「豊かな人間性」を育成することを掲げ、その具現化に向けて「ことばを使う力」「他とかかわろうとする心」「学びに向かう力」「考える力」を育てることを基本方針として編集されている。</li> <li>○ 各学年に三つの大きな言語活動が「unit」として設定されている。各「unit」では、学習の見通しを立てる「HOP」、語句や表現を学んでコミュニケーションを行う「STEP」、言語活動として設定された「JUMP」で構成されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る練習活動と、自己表現活動がバランスよく配置されている。二つの活動が段階的にかつ繰り返し行われることで、重要表現の習熟が図られるように工夫されている。</li> <li>○ 目的や場面、状況が明確な言語活動が学習の終盤に設定されており、個々の思考力、判断力を働かせ、表現しながら創造性を発揮して主体的に学べるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が自ら立てた目標に向かい、対話的・協働的に学び合えることができるように工夫されている。また、「Unit」を重ねるごとに振り返りの場面を設け、次の学びにつながるように配慮されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙面構成や記号について丁寧に説明されており、児童が使いやすいように工夫されている。巻末には、カードや地図などの切り取りできる付録があり、楽しく活動ができるように工夫されている。</li> <li>○ 1単位時間に必要な内容をページ単位の中で収めていると同時に、イラストや写真が大きく分かりやすいため、児童の学習意欲を促すものとなっている。また、2学年を通して、活動の際に別冊の絵辞典「My Dictionary」を適宜参考にすることで、語彙や表現を広げられるように工夫されている。</li> <li>○ 色の濃淡や罫線の工夫など、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、書く活動の見本の位置やキャラクターによるヒントなど、学びやすくする手立てが講じられている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の冒頭で、これまでに学習した内容を復習したり、各Unitの冒頭で、言語活動を通して、それまでの学習で育んできた力を確認したりするなど、各学年の接続が円滑にできるように工夫されている。また、第6学年で中学校生活を展望する学習が配置されており、中学校への円滑な接続が図られている。</li> <li>○ 社会科、算数科、理科などに関連する題材や、歌の活動を適宜配置して、他教科等との関連をもたせている。また、教育や平和、まちづくりなど、SDGsへの理解を深めることができる題材についても、豊富に配置されている。</li> <li>○ 二次元コードからアクセスできる教科書Webサイトやデジタル教科書では、タッチした語句の音声を聞くことができる。</li> </ul>		

種目名 英語

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	英語 515 615
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	ONE WORLD Smiles		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」を基本方針としている。シンプルな紙面と単元構成、学校生活に合ったテーマや分かりやすい活動等で、児童が英語を楽しく学べることをめざしている。また、デジタルコンテンツを豊富に用意することで児童の学びを支え、主体的に学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 各Lessonが、同じ学習の流れになっており、単元の目標活動に向けて4技能5領域の活動が段階的に取り入れられるなど工夫されている。「Think」では話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促す場面が設けられており、豊かな自己表現活動や友達との関わり合いにつながるよう工夫されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 語句や表現に十分に慣れ親しみ、定着が図られるように聞く活動や口慣らしの活動が豊富に設定されている。また、児童が自己表現活動に取り組みやすくするために、児童にとって身近な語、連語及び慣用表現を選定するなどの工夫が施されている。</li> <li>○ 各Lessonの「Final Activity」では、児童の興味・関心や経験等を発信できるように、具体的でイメージしやすい言語活動が設定されている。また、4技能5領域を包括的に活用できるように、活動内容が工夫されている。</li> <li>○ 「World of Smiles」や「Let's Look at the World」等の活動やコラムを通して、児童が世界の子どものたちの生活の様子に触れ、異文化に関心を広げたり、世界との一体感を味わったりしながら英語学習への意欲を高められるよう工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ My Word bankでは、児童にとって身近な語彙が精選されている。また、4線上に単語が書かれているなど、児童が意欲的に書く活動に取り組めるよう工夫されている。巻末にはワークシート等が多くあり、児童の学習意欲を高める活動も設定されている。</li> <li>○ 表紙には抗菌加工を施し、用紙には軽量の再生紙を使用している。また、印刷には植物性インクを使用するなど、地球環境に配慮している。</li> <li>○ 文字は、読みやすいUDフォントを使用している。また、カラーユニバーサルデザインの観点に立ち、色の組合せや濃淡を工夫するなど、あらゆる人にとって見やすくなるよう配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページの「Let's Start Together」では、既習の語句や表現を使って、これまでの学習を楽しく振り返ることができるよう工夫されている。第6学年後半には、学んできた要素を組み合わせ文構造への気付きを促す活動が配置されている。</li> <li>○ 国語科、社会科、道徳科、キャリア教育などとの関連を図るとともに、学級経営等にもプラスになるような活動が設定されている。また、手洗いやうがい、避難訓練の際の合い言葉等、保健衛生や防災等の観点を含む内容も配置されている。</li> <li>○ 各単元に配置されている二次元コードでは、「Let's Watch」の映像や「Let's Say It Together」等の音声を見たり聞いたりできる。「Let's Sing」では歌で英語に親しむことができる。</li> </ul>		

種目名 英語

観点	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	英語 516 616
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	Here We Go !		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「多様な考えや価値観を認め合えるように」「言葉を通して伝え合う喜びに気づけるように」「楽しく学び、英語が大好きになれるように」という方針のもと、互いの気持ちを伝え合う楽しさを知り、互いの違いを大切にできるように編集されている。</li> <li>○ 児童の生活や興味・関心に即した内容になっており、難易度も平易なものから徐々に高度なものとなっている。また、見開きのイラストや写真で興味・関心を高める「Hop!」、表現の着実な習得と活用を図る「Step」、自分の考えや気持ちを伝え合ったり発表したりすることができる「Jump!」から構成されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各Unitの「Step」では、聞く活動、Chant、話す活動、書く・読む活動というスモールステップで、表現の着実な習得と活用が図られるように配慮されている。</li> <li>○ 「Plus One」では、「Let's try」の話題を別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく尋ねたりする活動を取り入れることで、既習表現を生かし、言語活動を通して互いの気持ちや考えを伝え合う喜びを実感できるように工夫がされている。</li> <li>○ 「ふりかえろう」では、児童自身が自己評価することで学習の到達度を実感し、主体的な学びを進めることができるようにしている。また、「世界の友達」では多くの写真を使用し、多様な文化や価値観に触れることができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に自分が表現したいことを書きためて一覧できる「All About Me」を設定し、学びの記録にすることができるように工夫されている。各学年に別冊として取り外し可能な絵辞典を付け、Unit等の学習で語彙や表現に生かせるようにしている。</li> <li>○ 横幅の広いAB判で文字が読みやすく、紙面が視覚的に大きく見えるように工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインに対応し、教科書の三つのまとまりごとに赤・青・黄のテーマカラーを設けている。独自の英語フォントを使用するとともに、アルファベットとローマ字の学習を関連付けて行うことができるように小学校国語や書写の教科書でも同じ書体にしている。一文ごとに改行して文頭をそろえている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第5学年巻頭において中学年の表現を復習し、第6学年「Jump!」では、既習表現を含めながら活動できるように工夫されている。第6学年巻末「中学校に向けて」では、発音と綴りの関係や語順や文法につながる仕組みについて紹介するなど、中学校との接続を図っている。</li> <li>○ 「言葉について考えよう」では、国語科との共通点や相違点を考えることで深い学びの実現をめざしている。その他にもキャリア教育、防災教育の視点にも力を入れている。</li> <li>○ 二次元コードにアクセスしてストーリーアニメを視聴することができるようになっている。身近な話題から、海外とオンラインで話をする場面や、SDGsに関連する話題へと、徐々に広がりをもたせるように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 英語

観点	発行者の番号・略称	61 啓林館	教科書の記号・番号	英語 517 617
	使用学年	5 ~ 6		
	書名	Blue Sky elementary		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「言葉を使うための知識・技能を身に付けること」「考える力を育むこと」「多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育むこと」の三つを基本方針としている。また、ICTを活用した教育が効果的に行えるように、活用の場面を具体的に示すことで児童の確かな学力の育成につなげられるよう工夫されている。</li> <li>○ 全体が一つのPre Unit、八つのUnit、三つのREVIEWで構成されている。Unitは三つのStepで構成されており、英語を使ってできることをスモールステップで増やしていけるように工夫されている。また、各Unit、各Stepのめあてが示されているため、児童が見通しをもって学習に取り組みやすくなっている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識及び技能</li> <li>○ 思考力、判断力、表現力等</li> <li>○ 学びに向かう力、人間性等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Chantを豊富に取り入れる等、語句や表現に繰り返し慣れ親しみながら定着が図られるように工夫されている。さらに、児童が語句や表現を使いながら身に付けることができるように「Listen and Do」や「Activity」などの活動が設定されている。</li> <li>○ 思考を促すしかけとして、場面や英語表現等の使い方とコミュニケーションに大切なことを考える場面が多く設定されており、対話をしながら互いの気付きを共有することで深い学びが実現できるように工夫されている。</li> <li>○ 「Friends around the World」では、諸外国の子どもが自分のことを話す映像視聴を通して、世界の英語に触れられるように工夫されている。また、各Unitに関連した話題について様々な情報が扱われており、児童の興味・関心を高める工夫がされている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」、巻末に「会話を楽しむためのフレーズ集」が掲載されており、児童が主体的にコミュニケーションを図っていけるようになるための手がかりが常に確認できるように工夫されている。</li> <li>○ 見やすさ、読みやすさ、書き込みやすさを考えてA4判を採用し、写真を大きく表示したり、書くスペースを確保したりすることで学習効果が上がるように工夫されている。</li> <li>○ 日本語にも英語にも、だれにでも認識しやすいUDフォントが使用されている。また、必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストを使うなどの配慮がされている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学年との関連を図るため、既習事項を使ってやりとりができるイラスト等を掲載している。第5学年後半から文字を読んだり書いたりする機会を増やすとともに、第6学年では中学校生活を扱った内容を扱うなど、中学校への接続にも配慮している。</li> <li>○ 国語科、社会科、道徳科、総合的な学習の時間など、他教科等に関連した内容や活動が扱われている。空の色や太陽などを観察して天気の変化について考えるなど、他教科等の学びを生かしながら意味のある活動になるような題材が取り扱われている。</li> <li>○ 各Unitに二次元コードが用意されている。「Watch the Scene」では、学習する表現等を使ったアニメーションを見ることができ、児童が場面や意味を推測しやすいように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 道徳

観点	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	道徳 112～612
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	新編 新しい道徳		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分を見つめ、他人を思い、社会と関わり、生命や自然を尊ぶことができる「心の力」を育むために、児童の生活に根ざした教材や現代的な課題に目を向けた教材等が掲載されている。</li> <li>○ 各学年に重点内容項目が設定され、繰り返し学習できるように2～3教材が掲載されている。現代的な課題について扱う五つのユニットが編成され、指導に最適な時期を考えて配列されている。第1～6学年まで、学年ごとの発達の段階に合わせて、教材が選ばれ、配列されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成</li> <li>○ 児童一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考）</li> <li>○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童自身がどのような内容項目に関わって学習するかという見通しをもって取り組むことができるように、各教材にテーマとともに、内容項目の四つの視点がマークで示されている。</li> <li>○ 道徳的価値に迫ることができる問いや、これまでの自分を振り返り、自分の心を見つめ、これからの生き方に生かしていく問いが示された「考えよう」が教材末に設けられている。中・高学年では、学習への投げかけが掲載されており、児童の問題意識を喚起し、自己の生き方について考えを深める構成になっている。</li> <li>○ 児童が自らを振り返って成長を実感できるように、心に残った教材やこれからの生活に生かしたいことを書くことができる「学習の記録」が設けられている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ページ順の目次に加えて、視点別・内容項目別の目次も用意されている。巻頭には、言語活動を含めた授業の流れが、短い文章と挿絵を使って示されている。また、授業にスムーズに接続できるよう、各学年の発達の段階に応じた導入教材が設けられている。巻末には、考えを可視化する心のメーターが利用できるように「考えるためのツール」が設けられている。</li> <li>○ AB版を採用するとともに、本文用紙の軽量化を図っている。製本については、紙面をしっかりと開くことができるように工夫されている。</li> <li>○ UDフォントを使用し、文字の太さが工夫されている。分かち書きや文節での改行など、読みやすい工夫がされている。カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。教材の読字に困難さがある児童の教材理解に配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己を見つめることを楽しむ低学年、共感的に道徳的価値の理解を深める中学年、集団や社会の課題と向き合い自分の生き方について考える高学年と、幼児教育から中等教育まで、子どもの学びを円滑につなぐ構成になっている。</li> <li>○ 各教科等での道徳教育との関連を図った教材を取り上げている。他教科等の学習とつなげたり、ふだんの生活に広げたりできる教材には、「つながる・広がる」が設けられている。また、巻末にある「教材一覧表」で他教科等との関連が示されている。</li> <li>○ 全教材に付いた二次元コードから、朗読やスライドショー（紙芝居）を視聴したり、ワークシートをダウンロードしたりできるように工夫されている。</li> </ul>		

種目名 道徳

観点	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	道徳 113～613
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学道徳 はばたこう明日へ		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権問題やSDGs、LGBTQ等を含めた、現代社会に合った多種多様な教材により、考え、議論する道徳科授業を実現し、児童の認識を深め、変容を促すことができるように工夫されている。</li> <li>○ 全学年共通のテーマ「いじめ問題」「情報モラル」に加えて各学年で「生命」「人権問題」等の重点テーマを1～3個設定し、「教材＋コラム」の構成でユニット化されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成</li> <li>○ 児童一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考）</li> <li>○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「その教材で何について学ぶのか」という学習の方向性を明確にした主体的な学びを促すことができるように、各教材の冒頭で主題と、ねらいとする道徳的価値についての問いかけが示されている。</li> <li>○ 児童が考えを深め、議論することができるように、視覚的に内容が理解しやすいイラストやマンガ形式の教材、偉人や現在活躍する人物を扱った教材、児童の生活実態や発達の段階に応じた教材等が掲載されている。動作化や役割演技の提案「やってみよう」を含め、各教材末には、「考えよう」の欄に活発な議論を促すための発問が示されている。</li> <li>○ 授業を通して自分自身のことを考える中で、自己の成長を実感したり、今後の課題や目標を見付けたりすることができるように、児童の生活場面を描いた生活教材、現代的な課題と向き合う教材等が発達の段階に合わせて配置されている。各教材末には、これからの自分の生き方について児童の思考の深化を促すことができるように、「深めよう」の欄に発問が示されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭には、1単位時間の授業の流れがイメージできるように「道徳で学習すること」「道徳ではこんな学び方をするよ」というオリエンテーションのページが設定されている。巻末には学期末と年度末に学習を振り返り、児童が自分の成長を感じることができるように「学習をふり返ろう」「一年間の学習をふり返ろう」のページが設定されている。</li> <li>○ 製本については、丈夫なつくりになるよう綴じ方を工夫するとともに、AB判を採用している。また、環境に配慮した再生紙と植物油インキを採用し、表面には抗菌加工が施されている。</li> <li>○ 色覚の特性を問わず多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、本文書体には、見やすく読みやすいUDフォントが採用されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年ごとの教材は、発達の段階に応じた内容（物語教材中心の低学年・生活教材中心の中学年・人物教材中心の高学年）と文章量で構成されている。</li> <li>○ 他教科等や特別活動等との関連を図るため、指導時期を考慮した教材配列となっている。また、各学年の巻末には学習内容一覧として他教科等・領域とのつながりが示されている。</li> <li>○ 道徳的価値に根ざした問題について、考えをより深めることができるように問題解決的な学習に活用できる「問題を解決しよう」の欄が設けられている。</li> </ul>		

種目名 道徳

観点	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	道徳 114～614
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	道徳 きみが いちばん ひかるとき		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「道徳の学びをつなげる」「道徳の学びの土台を作る」「道徳の学びをもっと豊かに」の三つのことを大切にしている。広く実践が積み重ねられてきた定番教材を多数取り上げるとともに、現在活躍する人物の子どもの頃の葛藤を扱った読み物や漫画形式の教材等、多様な教材が選定されている。</li> <li>○ 「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の四つの現代的な課題について、教材とコラムを組み合わせたユニットが年間4か所に位置付けられており、地域・学校の実態に応じた扱いができるように配慮されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成</li> <li>○ 児童一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考）</li> <li>○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年を通して、教材末に学習の手引き「考えよう・話し合おう」が設けられている。自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するために話し合ったりするなど、多面的・多角的に考えられる発問が教材に応じて置かれている。</li> <li>○ 1年間の発達の段階を意識し、話し合う喜びを実感できるように「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」「心を通わそう」「考える」が位置付けられている。特に、第5、6学年では、「思いやり」や「自由」の本質について友達と語り合い、納得のいく答えを作り上げる教材を配している。</li> <li>○ 第2学年以上の教材末の学習の手引きには、「つなげよう」が設けられており、他教科等で学習する内容との関連付け、特別活動や学校行事との関連付けなどが示されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年以上の第一教材「道徳が始まるよ」では、道徳は何を学ぶ教科なのかを理解できるように、児童にも分かる言葉で内容項目が示されている。巻末には、「学びの記録」が位置付けられている。第1～4学年ではシールを貼り、第5、6学年では一言感想を書き込むことで、自己評価をすることができるようになっている。</li> <li>○ B5判より横幅を10ミリ広くすることで、持ち運びしやすいサイズのままにしつつ、文字や挿絵が見やすくなるように大きく示されている。</li> <li>○ 文字の大きさや配置、写真や絵の色遣いや配置の他、枠組みを使ったデザイン処理などにも十分に配慮されている。カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受けたことも明記されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3～6学年の巻末には、「学びの工具箱」が掲載され、授業を活性化するような思考ツールや話し合い活動が紹介されている。また、第6学年では、「働く人へのインタビュー」や「やりがいについてのアンケート」が資料として掲載されている。</li> <li>○ 各教材の学習の手引きには、他教科等やSDGsとの関連が一目で分かるようなマークが付してある。</li> <li>○ 二次元コードが付してある教材には、授業の中で活用できる動画などの資料や朗読音声など、児童が興味・関心をもって視聴できるコンテンツが用意されている。</li> </ul>		

種目名 道徳

観点	発行者の番号・略称	116 日文	教科書の記号・番号	道徳 115～616
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学道徳 生きる力 道徳ノート		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分を、まわりの人を大切にする力」「自ら学びに向かう力」「みんなと生きていく力」を育むことを基本方針とし、魅力あふれる多彩な教材を扱っている。また、いじめを「間接的に扱った教材」と「直接的に扱った教材」、いじめ防止コラムを組み合わせたユニットを年間3回設定している。</li> <li>○ 道徳科の学びを広げ、深めるコラム「心のベンチ」が掲載されている。「いじめ」「情報モラル」「SDGs」「多文化共生」「自己肯定感」の五つのテーマが各学年に1点ずつ掲載されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成</li> <li>○ 児童一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考）</li> <li>○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材の冒頭に問いが示されており、導入で、ねらいとする道徳的価値や資料の問題場面に、関心をもつことができるようしている。また、教材の終末に「考えてみよう」として問いが記されており、それを考えることによって自分の考えを形成することができるようにしている。</li> <li>○ 児童がこれまでの多様な実践活動を生かして道徳科における主体的・対話的で深い学びを実現するために、問題解決的な学習や体験的な学習などの手法を用いた効果的な展開が、各学年5教材に「ぐっと深める」として位置付けられている。</li> <li>○ 教材の終末に「見つめよう・生かそう」として発問例が示されており、学習を通じて気付いたことや分かったことを自発的に確かめ、生かすことができるように工夫されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の巻頭には「道徳のとびら」が設けてあり、道徳科の学習の意義が示されている。また、巻末には付録の資料が3点収められていることで、学校の実態に応じてカリキュラム編成をすることができるように工夫されている。</li> <li>○ 別冊のAB判の「道徳ノート」がある。発問例は記載されず、ページの半分は、枠のみで自由に記述できる。もう半分は罫線があり、振り返りで記述できるようになっている。二次元コードにより利用できるデジタルノートと併用できるようになっている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインの専門家が校閲を行い、児童の色覚の特性を問わず、教材が見やすいように工夫されている。教材が見開きで構成されており、児童が学びやすいように配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では、「スタートカリキュラム」を意識した内容となっており、イラスト主体で児童が直感的に理解できるように構成されている。</li> <li>○ 巻末の「見つけた！ここにも道徳」「SDGsで考えよう（第3～6学年で設定）」では、授業で学んだことを、身近な生活とつなげて考えたり、持続可能な社会の実現に必要なことを考えたりすることができるようにしている。</li> <li>○ 児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができるように、二次元コードから、朗読音声や動画、アニメーションなどを視聴したり、ワークシート等をダウンロードしたりできるように施されている。</li> </ul>		

種目名 道徳

観点	発行者の番号・略称	208 光文	教科書の記号・番号	道徳 117～617
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	小学道徳 ゆたかな心		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童と教師がともに深く考えることができるように、「見つける（問いを見付ける構成）」「考える（考えたくなる教材）」「広げる（学びを広げる工夫）」の三つの要点で学びの場が提供されている。</li> <li>○ 重点主題として「いじめを生まない心」、「命をかがやかせる」等を設定し、児童に特に考えさせたい内容については、複数の時間で構成されている。また、複数の時間にすることで、同じテーマを多角的な視点から考えたり、学びをさらに深めたりできるようにしている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成</li> <li>○ 児童一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え（思考）</li> <li>○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材には、冒頭に「導入」、末尾に「考えよう（中心発問）」「かんがえよう（別の発問）」「まとめよう（終末）」「ひろげよう（発展）」を設置し、1単位時間の授業の目的や流れが明確に示されている。</li> <li>○ 児童が自ら問いをもって授業に臨むことの重要性を踏まえて、各教材において児童の経験や生活の中から問いがもてるように、設問（導入）が工夫されている。また、教材の最後に、二つの「かんがえよう」の問いかけがあり、児童が考えを広めたり、深めたりすることで問題の解決に向けて取り組むことができるように配慮されている。</li> <li>○ 各教材の末尾の「ひろげよう」において、家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示し、学習したことが児童の実生活へつながるように配慮されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭のオリエンテーションでは、授業で考えたことを日常生活に生かし、さらに生活の中で生まれた問いをもって授業で考えるという流れを提示し、日常生活や自分との関わりの中で道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことを児童に意識付けられるように工夫されている。また、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを多面的・多角的に捉えられたりするよう、話し合い活動の具体的な方法が提示されている。</li> <li>○ 教科書のサイズをAB判として軽量化を図るとともに、写真やイラストが引き立つようにレイアウトを工夫している。また、表紙が汚れにくくなるように加工されている。</li> <li>○ 図版やグラフ等の配色は、専門家の目を通し、カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、見やすく、読み間違えにくいUDフォントが採用されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校内における他学年同士の活動を題材とした教材を当該学年に配置し、他教科等や特別活動と連動した指導ができるように工夫されている。</li> <li>○ 各学年の他教科等での学習や特別活動を意識して、教材の題材や発展での活動が精選されている。</li> <li>○ 授業の導入や展開に活用できるオリジナル写真やインタビュー動画、教材に関連する動画や写真、ウェブサイトを、二次元コードを通して見られるようにしている。</li> </ul>		

種目名 道徳

観点	発行者の番号・略称	224 学研	教科書の記号・番号	道徳 118～618
	使用学年	1 ～ 6		
	書名	新版 みんなの道徳		
1 編集の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編集の方針にみられる特徴</li> <li>○ 組織・配列にみられる特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が主体性と広い視野をもって自らの未来を切り拓くために、必要な資質・能力を育むことを編集の方針としている。「人をつなぐ」、「課題をつなぐ」、「未来につなぐ」の三つの「つなぐ」というまとまりで道徳性を養う構成になっている。</li> <li>○ 一つのテーマのもと、内容項目が異なる2教材を連続して学ぶユニット教材「いのち」「多様性」「キャリア」を設定し、多面的・多角的に考えを深めることができるように構成されている。「いのち」を最重点テーマに設定し、内容項目「生命の尊さ」は、全学年3教材設定されている。</li> </ul>		
2 学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的諸価値の理解と自分自身に固有の選択基準・判断基準の形成</li> <li>○ 児童一人ひとりの人間としての在り方生き方についての考え(思考)</li> <li>○ 人間としてよりよく生きようとする道徳性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質・能力を培うことを重視し、主題名を教材冒頭に記載しないなど、特定の価値観を押し付けることなく、児童の問題意識を大切にした構成・展開になるように工夫されている。</li> <li>○ 自分の考えを深めるきっかけを示す「ボックス」を適所に配置するとともに、教材とつなげて考えを深める「深めよう」、道徳的価値について多面的・多角的に考える「心のパスポート」という特設ページが設けられている。</li> <li>○ 生命の尊さや人権を重んじ、多様性を受け入れながら、他者と共によりよく生きることについて考えることができる教材が採用されている。</li> </ul>		
3 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次、巻頭・巻末の資料などにみられる特徴</li> <li>○ 判型・分冊などにみられる特徴</li> <li>○ ユニバーサルデザインに関する配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭には、見開きいっぱいの写真に、心を耕す言葉が添えられ、学びへの意欲を高める導入となっている。また、全学年に「道徳の時間が始まるよ」のページが配置され、学び方を知った上で、安心して学習を進めることができるように工夫されている。巻末には、「心のたから物」が配置され、学びを振り返り、自分の成長を感じることができるように構成されている。</li> <li>○ AB判のゆったりとした紙面となっており、写真やイラスト、図表が見やすい。また、印刷については、環境に配慮して作られた紙、インキ、印刷方式を採用するとともに、製本については、リサイクル性の高いものが使用されている。</li> <li>○ 大きい文字で、児童が読み違いを起こしにくいUDフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</li> </ul>		
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他学年の内容や中学校等との関連にみられる特徴</li> <li>○ 他教科等との内容の関連にみられる特徴</li> <li>○ その他の顕著な特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学年間のつながり」「校種間のつながり」に配慮され、特に第1学年については保幼小の円滑なつながりを意識した教材が掲載されている。</li> <li>○ 関連する学びのテーマ(地球・情報モラル等11種)を示すマークを配置し、現代的課題やSDGsにつながる授業を提案するとともにカリキュラム・マネジメントにも役立つように工夫されている。</li> <li>○ 二次元コードから、教材に関連する動画や写真、音声、ワークシートなどのデジタルコンテンツにアクセスできるように工夫されている。</li> </ul>		

